

基本計画書

基本計画									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		大学の設置							
フリガナ設置者		コウリツダイガクホウジンケンリツヒロシマダイガク 公立大学法人県立広島大学							
フリガナ大学の名称		エイケイダイガク 叡啓大学 (Eikei University of Hiroshima)							
大学本部の位置		広島県広島市中区鞆町1-5							
大学の目的		社会を俯瞰する視野を持ち、他者との協働のもと、文理の枠を越えた知識やスキルを組み合わせて課題の解決を図り、新たな価値を創り出すことのできる人材を育成し、地域から国際社会まで広く貢献することを目的とする。							
新設学部等の目的		本学部のソーシャルシステムデザインの理念は、「自らが将来のありうべき社会像を創ること」であり、そのために、自らが課題を発見し、解決策を立案し、他者と協働しながら、リーダーシップを発揮し、実行することを通じて、新たな社会価値を生み出すことのできる人材を育成することを目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	ソーシャルシステムデザイン学部 [Department of Social System Design] ソーシャルシステムデザイン学科 [Social System Design Course]	年	人	年次人	人	学士 (学術) 【Bachelor of Arts and Science】	年月 第年次	広島県広島市中区 鞆町1-5	
	計	4	100	-	400		令和3年4月 第1年次		
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
	ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科	講義	演習	実験・実習	計	124単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
	新設分	ソーシャルシステムデザイン学部	教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任教員等
		ソーシャルシステムデザイン学科	13人 (10)	7人 (7)	2人 (2)	0人 (0)	22人 (19)	0人 (0)	26人 (14)
	計		13 (10)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	22 (19)	0 (0)	26 (14)
	既設分	該当なし	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
計		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	
合計		13 (10)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	22 (19)	0 (0)	- (-)	

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員		13 人 (13)	26 人 (26)	39 人 (39)					
	技 術 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	図 書 館 専 門 職 員		1 (1)	7 (7)	8 (8)					
	そ の 他 の 職 員		0 (0)	0 (0)	0 (0)					
	計		14 (14)	33 (33)	47 (47)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	2,193㎡	1,030㎡	135,032㎡	138,255㎡	県立広島大学 (必要面積 23,000㎡)と共用				
	運 動 場 用 地	0㎡	5,729㎡	39,875㎡	45,604㎡					
	小 計	2,193㎡	6,759㎡	174,907㎡	183,859㎡					
	そ の 他	0㎡	2,022㎡	119,835㎡	121,857㎡					
	合 計	2,193㎡	8,781㎡	294,742㎡	305,716㎡					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		県立広島大学 (必要面積 21,703㎡)と共用			
		8,677㎡ (8,677㎡)	3,333㎡ (3,333㎡)	83,473㎡ (83,473㎡)	95,483㎡ (95,483㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	16室	1室	0室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)					
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数						
		ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科		26 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 種 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	県立広島大学広島キャンパス共用分を含む 図書36,000冊〔0冊〕 左記以外に、年間利用型電子図書(外国書)14万タイトル及び電子ジャーナルデータベース(外国書)18,900タイトルを利用する。		
	ソーシャルシステムデザイン学部	42,600〔3,250〕 (38,640〔1,300〕)	48〔18〕 (48〔18〕)	7〔7〕 (7〔7〕)	80 (32)	1,662 (1,662)	0 (0)			
	計	42,600〔3,250〕 (38,640〔1,300〕)	48〔18〕 (48〔18〕)	7〔7〕 (7〔7〕)	80 (32)	1,662 (1,662)	0 (0)			
図 書 館		面積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		県立広島大学広島キャンパス図書館の共用 (3,333㎡,291席, 258,111冊)を含む			
		3,575㎡		333	273,111					
体 育 館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要		県立広島大学広島キャンパス体育館の共用				
		1,948㎡		-						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費は、電子ジャーナルの整備費(運用費)は含むが、年間利用型電子図書利用料、電子ジャーナルデータベース利用料及びオンラインデータベース利用料を除く額。
		教員1人当り研究費等		500千円	500千円	500千円	500千円	－千円	－千円	
		共同研究費等		5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	－千円	－千円	
		図書購入費	37,433千円	30,878千円	30,878千円	5,000千円	5,000千円	－千円	－千円	
	設備購入費	207,618千円	100,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円	－千円	－千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※学生納付金は、上段が県内の学生、下段が県外からの学生		
		818千円 931千円	536千円 536千円	536千円 536千円	536千円 536千円	－千円	－千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			広島県からの運営費交付金等							

大学の名称		県立広島大学							所在地
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
	年	人	年次人	人		倍			
地域創生学部 地域創生学科	4	200	—	800	学士 (地域創生)	1.06 1.06	令和2年度	広島市南区宇品東一丁目1番71号	
生物資源学部 地域資源開発学科	4	40	—	160	学士 (地域資源開発学)	1.05	令和2年度	広島県庄原市七塚町5562番地	
生命環境学科	4	100	—	400	学士 (生命環境学)	1.06	令和2年度		
保健福祉学部 看護学科	4	60	—	240	学士(看護学)	1.02 1.01	平成17年度	広島県三原市学園町1番1号	
理学療法学科	4	30	—	120	学士 (理学療法学)	1.02	平成17年度		
作業療法学科	4	30	—	120	学士 (作業療法学)	1.03	平成17年度		
コミュニケーション障害学科	4	30	—	120	学士 (コミュニケーション障害学)	1.00	平成17年度		
人間福祉学科	4	40	—	160	学士 (人間福祉学)	1.03	平成17年度		
人間文化学部 国際文化学科	4	—	—	—	学士 (国際文化学)	—	平成17年度	広島市南区宇品東一丁目1番71号	
健康科学科	4	—	—	—	学士 (健康科学)	—	平成17年度		
経営情報学部 経営学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—	平成17年度	※令和2年度より学生募集停止	
経営情報学科	4	—	—	—	学士 (経営情報学)	—	平成17年度	※令和2年度より学生募集停止	
生命環境学部 生命科学科	4	—	—	—	学士 (生命科学)	—	平成17年度	広島県庄原市七塚町5562番地	
環境科学科	4	—	—	—	学士 (環境科学)	—	平成17年度		
大学院総合学術研究科 人間文化学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (人間文化学)	0.50	平成17年度	広島市南区宇品東一丁目1番71号	
情報マネジメント専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (経営情報学)	0.80	平成17年度		
生命システム科学専攻 (博士課程前期)	2	30	—	60	修士 (生命システム科学)	0.33	平成17年度	広島県庄原市七塚町5562番地	
生命システム科学専攻 (博士課程後期)	3	5	—	15	博士 (生命システム科学)	1.20	平成17年度		
保健福祉学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (保健福祉学)	1.07	平成17年度	広島県三原市学園町1番1号	
大学院経営管理研究科 ビジネス・リーダーシップ専攻 (専門職学位課程)	2	25	—	50	経営修士 (専門職)	1.22	平成28年度	広島市南区宇品東一丁目1番71号	
附属施設の概要	なし								

教育課程等の概要														
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
実践英語	入門科目 IEP(Intensive English Program)	Listening English I/リスニング英語 I	1①	2			○		1	2	1			兼1
		Writing English I/ライティング英語 I	1①	2			○		1	2	1			兼1
		Reading English I/リーディング英語 I	1①	2			○		1	2	1			兼1
		Speaking English I/スピーキング英語 I	1①	2			○		1	2	1			兼1
		Basic English Presentation I/ プレゼンテーション英語基礎 I	1①	2			○							兼5
		Listening English II/リスニング英語 II	1②	2			○		1	2	1			兼1
		Writing English II/ライティング英語 II	1②	2			○		1	2	1			兼1
		Reading English II/リーディング英語 II	1②	2			○		1	2	1			兼1
		Speaking English II/スピーキング英語 II	1②	2			○		1	2	1			兼1
		Basic English Presentation II/ プレゼンテーション英語基礎 II	1②	2			○							兼5
	基盤科目	Academic Reading/アカデミックリーディング	2・3 ①・③・④	2			○				1			兼1
		Academic Writing/アカデミックライティング	2・3 ①・③・④	2			○			1				兼1
		Communicative English/ コミュニケーションイングリッシュ	2・3 ②・③・④	2			○		1					兼1
		Current English/カレントイングリッシュ	2・3 ②・③・④	2			○			1				兼1
		Presentation English/ プレゼンテーションイングリッシュ	2・3 ②・③・④	2			○			1	1			兼1
小計 (15科目)		—	0	30	0	—		1	2	1			兼7	
ICT・データサイエンス 基本ツール科目	入門科目	Introduction to ICT/ICT入門	1③	2			○			1				兼1
		Essential Programing/プログラミング入門	1④	2			○			1				兼1
		Introduction to Data Science A/ データサイエンス概論A	2①	2			○		1					兼1 オムニバ ス・共同 (一部)
	基盤科目	Web Programming and Application Development/ ウェブプログラミングとアプリ開発	2・3①・③	2			○				1			兼1
		Information Delivery Method/情報発信技法	2・3①・③	2			○			1				兼1
		Problem Solving with IoT/ IoT利用による問題解決	2・3②・④	2			○							兼1
		Introduction to Data Science B/ データサイエンス概論B	2・3②・④	2			○							兼1
		Data Analysis and Statistical modeling/ データ分析と統計モデリング	2・3①・③	2			○							兼2
		Data Visualization/データ可視化法	2・3②・④	2			○							兼2
		Practical Data Science/ データサイエンス実践論	2・3②・④	2			○							兼1
		AI and Business Application/ AIビジネス活用論	2・3②・④	2			○							兼1
小計 (11科目)		—	6	16	0	—		1	1				兼6	
思考系	入門科目	Logical Thinking/ロジカルシンキング	1③	2			○		1					兼1
		Design Thinking , System Thinking/ デザイン思考・システム思考	1④	2			○			1				兼1
	基盤科目	Project Management/ プロジェクトマネジメント	2・3①・③	2			○				1			兼1
		Facilitation/ファシリテーション	2・3②・④	2			○				1			兼1
		Japanese Academic Writing/ 日本語アカデミックライティング	2・3 ①・②・③・④	2			○		1	1				兼1
小計 (5科目)		—	4	6	0	—		2	2	1			兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
リベラルアーツ科目	入門科目	導入	Introduction to Social System Design/ ソーシャルシステムデザイン入門	1①・③	1			○			1						※集中		
		人	Introduction to Art and Literature/ 芸術・文学入門	1③・④	2			○				1							
			Introduction to Philosophy and Ethics/ 哲学・倫理学入門	1③・④	2			○				1							
		社会	Introduction to Economics/経済学入門	1③・④	2			○				1							
			Legal Mind/法的思考	1③・④	2			○				1							
		自然	Introduction to Environmental Studies/ 環境学入門	1③・④	2			○				1							
	Introduction to Ethics of Science and Technology/ 科学技術倫理入門		1③・④	2			○				1	1					オムニバス・共同 (一部)		
	入門 選択	Introduction to Mathematics/数学入門	1④, 2②・④	2			○											兼1	
		Introduction to Health Science/健康学入門	2②・③	2				○										兼1 ※集中	
	基礎科目	人	Introduction to Psychology/心理学概論	2①・③	2			○			1								
			Peace Studies/平和論	2②・④	2			○			1								
			Religion and History/宗教と歴史	2①・③	2			○											兼1
		社会	Introduction to Business Administration/ 経営学概論	2①・③	2			○			1								
			Introduction to International Cooperation and Security/ 国際協力・安全保障概論	2②・④	2			○			1		1						オムニバス・共同 (一部)
		自然	Introduction to Sociology/社会学概論	2②・④	2			○				1							
	Introduction to Bioethics/生命倫理学概論		2①・③	2			○				1								
	Introduction to Artificial Intelligence/ 人工知能概論		2②・④	2			○											兼1	
		Mathematical Thinking/数学的思考法	2②・④	2			○											兼1	
	発展科目	アイデンティティデザイン	人	Philosophy and Ethics/哲学・倫理学	2・3①・③	2			○			1							
				Studies in Diversity and Multiculturalism/ 多文化共生社会論	2・3①・③	2			○					1					
			Media Studies/メディア論	2・3②・④	2			○				1							
			Japanese Culture Studies/日本文化論	2・3②・④	2			○				1							
			Cross-Cultural Studies/異文化論	2・3②・④	2			○				1							
			Introduction to Philosophy of Science/ 科学哲学概論	2・3①・③	2			○											
		社会	Public Management Theory/公共経営論	2・3①・③	2			○				1							
			Regional Collaboration/地域協働論	2・3②・④	2			○				1							
		自然	Introduction to Cognitive Science/ 認知科学概論	2・3①・③	2			○				1							
			Healthcare Services/ ヘルスケアサービス論	2・3①・③	2			○				1							
人		Public Art/公共芸術論	2・3②・④	2			○												兼1 ※集中
		Introduction to Social Psychology/ 社会心理学概論	2・3②・④	2			○				1								兼1 オムニバス
	Management Strategy and Organization Theory/ 経営戦略・組織論	2・3①・③	2			○				1									
	Marketing Theory/マーケティング論	2・3①・③	2			○				1								兼1 ※③学期のみ集中	
	社会	Finance/ファイナンス論	2・3①・③	2			○					1							兼1
		Social Entrepreneurship/ 社会起業家論	2・3②・④	2			○												兼1
自然	Studies in Socioeconomic System/ 社会経済システム論	2・3②・④	2			○				1									
	Industry and Business Model/ 産業・ビジネスモデル論	2・3②・④	2			○				1									
	Biotechnology/バイオテクノロジー論	2・3①・③	2			○				1									
	History of Science and Technology/科学技術史	2・3②・④	2			○				1									

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
リベラルアーツ科目	発展科目	人	Introduction to Cultural Anthropology/ 文化人類学概論	2・3①・③	2			○				1					兼1
			Fieldwork Studies/フィールドワーク研究	2・3②・④	2			○					1				
		社会	Environmental Economics/環境経済学	2・3①・③	2			○					1				
			エコ	Regional Revitalization/ 地域活性化論	2・3②・④	2			○					1			
			システム	Development Economics/開発経済学	2・3①・③	2			○								
		自然	Natural Disaster/自然災害論	2・3①・③	2			○					1				
			Urban Environment/都市環境論	2・3①・③	2			○					1				
			環境	Environmental Engineering/環境工学	2・3①・③	2			○				1				
			生態	Biodiversity/生物多様性論	2・3②・④	2			○				1				
		Global Environment/地球環境論	2・3②・④	2			○				1						
	Ecology/生態学	2・3②・④	2			○				1							
実践科目	SDGs, the world and us/ 持続可能な世界と私たち～SDGsの達成に向けて～	4①・③	2				○				2					オムニバス・共同(一部)	
小計(50科目)				—	15	84	0		—		12	4	1			兼12	
体験・実践プログラム	国内プログラム	Domestic Volunteer Program /国内ボランティア	2・3①・②・③・④	2				○			12	7	2				
		Domestic Internship Program A/国内インターンシップA	2・3①・②・③・④	2				○			12	7	2				
		Domestic Internship Program B/国内インターンシップB	2・3①・②・③・④	4				○			12	7	2				
	海外プログラム	Volunteer Abroad Program/海外ボランティア	2・3①・②・③・④	2				○			12	5	2				
		Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ	2・3①・②・③・④	2				○			12	5	2				
		Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム	2・3①・②・③・④	2				○			12	5	2				
小計(6科目)				—	0	14	0		—		12	7	2				
日本語	Japanese I/日本語I	1③	2				○									兼1	
	Japanese II/日本語II	1③	2				○									兼1	
	Japanese III/日本語III	1③	2				○									兼1	
	Japanese IV/日本語IV	1④	2				○									兼1	
	Japanese V/日本語V	1④	2				○									兼1	
	Japanese VI/日本語VI	1④	2				○									兼1	
	小計(6科目)				—	0	12			—							兼2
課題解決演習科目	課題解決演習	Introduction to Project Based Learning /課題解決入門	1①・③	1				○			12	7	2			※集中	
		Project Based Learning Exercise IA/ 課題解決演習IA	2①・②・③・④	2				○			12	7	2				
		Project Based Learning Exercise IB/ 課題解決演習IB	2①・②・③・④	2				○			12	7	2				
		Project Based Learning Exercise II/ 課題解決演習II	3①②・③④	4				○			12	7	2				
	小計(4科目)					9						12	7	2			
卒業プロジェクト	Degree Project/卒業プロジェクト	4通	12				○				12	7	2				
	小計(1科目)				—	12	0	0		—		12	7	2			
合計(98科目)				—	46	162	0		—		13	7	2			兼26	
学位又は称号		学士(学術)		学位又は学科の分野				文学関係, 経済学関係, 理学関係									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
<p>【卒業要件単位】 科目区分ごとに次のとおり履修した上で、124単位以上修得すること。 なお、124単位中62単位以上は英語開講科目により修得すること。 (履修科目の登録の上限：1学期当たり10単位)</p> <p>実践英語24単位以上（選択科目から24単位以上）又は8単位以上（選択科目から8単位以上） ・入学者選抜においてCEFR (Common European Framework of Reference) レベルB2相当に達していないと認められた者は、入門科目であるIEP (Intensive English Program) の20単位を必ず履修することとし、基盤科目から選択する4単位以上と合わせて24単位以上を履修するものとする。 ・入学者選抜においてCEFRレベルB2相当以上の英語能力を有すると認められた者は、入門科目であるIEP (Intensive English Program) を履修しないことができる。IEPを履修する場合は、IEP20単位と基盤科目から選択する4単位以上を合わせて24単位以上を履修する。IEPを履修しない場合は、基盤科目から8単位以上を履修するものとする。</p> <p>基本ツール科目18単位以上（必修10単位（ICT・データサイエンス6単位、思考系4単位）、選択科目から8単位以上）</p> <p>リベラルアーツ科目43単位以上（必修15単位、選択科目から28単位以上） ・基盤科目「平和・共創」 9科目の中から8単位（4科目）以上、かつ、「人」、「社会」、「自然」の各分野から2単位（1科目）以上履修するものとする。 ・発展科目 ウィンドウ 「アイデンティティデザイン」、「ビジネスデザイン」、「エコシステムデザイン」のうち1つ以上のウィンドウについて、そのウィンドウに配置された10科目又は11科目の中から14単位（7科目）以上、かつ、「人」、「社会」、「自然」の各分野から2単位（1科目）以上履修するものとする。</p> <p>課題解決演習科目21単位以上（必修21単位（課題解決演習9単位、卒業プロジェクト12単位））</p> <p>体験・実践プログラム4単位以上 原則として、最低2単位（1科目）は海外プログラムを履修するものとする。 ただし留学生については、本学で学ぶことを海外経験とみなし、海外プログラムは選択履修とする。また、留学した学生についても、海外プログラムは選択履修とする。</p> <p>上記により、各科目区分の最低単位の合計では、実践英語のIEPを履修する者は110単位、IEPを履修しない者は94単位となるが、科目区分に関わりなく選択による単位を加え、合計124単位以上を履修するものとする。なお、その際、日本語は日本語初学者のみが選択できるものとする。</p> <p>授業は、英語開講と日本語開講の科目、英語開講の科目、日本語開講の科目を設定する（下記一覽参照）。同一科目名で英語開講と日本語開講を行う科目は、いずれか一方の単位しか認められない。</p>	1 学年の学期区分	4 学期
<p>【英語開講・日本語開講科目一覽】 1 英語開講と日本語開講の科目 Introduction to ICT/ICT入門 Essential Programing/プログラミング入門 Web Programming and Application Development/ウェブプログラミングとアプリ開発 Information Delivery Method/情報発信技法 Problem Solving with IoT/IoT利用による問題解決 Introduction to Data Science A/データサイエンス概論A Introduction to Data Science B/データサイエンス概論B Data Analysis and Statistical modeling/データ分析と統計モデリング Data Visualization/データ可視化法 Practical Data Science/データサイエンス実践論 AI and Business Application/AIビジネス活用論 Logical Thinking/ロジカルシンキング Design Thinking, System Thinking/デザイン思考・システム思考 Project Management/プロジェクトマネジメント Facilitation/ファシリテーション Introduction to Social System Design/ソーシャルシステムデザイン入門 Introduction to Art and Literature/芸術・文学入門 Introduction to Philosophy and Ethics/哲学・倫理学入門 Introduction to Economics/経済学入門 Legal Mind/法的思考 Introduction to Environmental Studies/環境学入門 Introduction to Ethics of Science and Technology/科学技術倫理入門 Introduction to Mathematics/数学入門 Introduction to Health Science/健康学入門 Introduction to Psychology/心理学概論 Peace Studies/平和論 Religion and History/宗教と歴史 Introduction to Business Administration/経営学概論 Introduction to International Cooperation and Security/国際協力・安全保障概論 Introduction to Sociology/社会学概論 Introduction to Bioethics/生命倫理学概論 Introduction to Artificial Intelligence/人工知能概論 Mathematical Thinking/数学的思考法 Applied Philosophy Ethics/哲学・倫理学概論 Studies in Diversity and Multiculturalism/多文化共生社会論</p>	1 学期の授業期間	7 週
	1 時限の授業時間	100分

<p>Media Studies/メディア論 Japanese Culture Studies/日本文化論 Cross-Cultural Studies/異文化論 Introduction to Philosophy of Science/科学哲学概論 Public Management Theory/公共経営論 Regional Collaboration/地域協働論 Introduction to Cognitive Science/認知科学概論 Healthcare Services/ヘルスケアサービス論 Public Art/公共芸術論 Introduction to Social Psychology/社会心理学概論 Management Strategy and Organization Theory/経営戦略・組織論 Marketing Theory/マーケティング論 Finance/ファイナンス論 Social Entrepreneurship/社会起業家論 Studies in Socioeconomic System/社会経済システム論 Industry and Business Model/産業・ビジネスモデル論 Biotechnology/バイオテクノロジー論 History of Science and Technology/科学技術史 Introduction to Cultural Anthropology/文化人類学概論 Fieldwork Studies/フィールドワーク研究 Environmental Economics/環境経済学 Regional Revitalization/地域活性化論 Development Economics/開発経済学 Natural Disaster/自然災害論 Urban Environment/都市環境論 Environmental Engineering/環境工学 Biodiversity/生物多様性論 Global Environment/地球環境論 Ecology/生態学 SDGs, the world and us/持続可能な世界と私たち～SDGsの達成に向けて～ Introduction to Project Based Learning /課題解決入門 Project Based Learning Exercise IA/課題解決演習IA Project Based Learning Exercise IB/課題解決演習IB Project Based Learning Exercise II/課題解決演習II Domestic Volunteer Program /国内ボランティア Domestic Internship Program A/国内インターンシップA Domestic Internship Program B/国内インターンシップB Degree Project/卒業プロジェクト</p> <p>2 英語開講の科目</p> <p>Listening English I/リスニング英語I Writing English I/ライティング英語I Reading English I/リーディング英語I Speaking English I/スピーキング英語I Basic English Presentation I/プレゼンテーション英語基礎I Listening English II/リスニング英語II Writing English II/ライティング英語II Reading English II/リーディング英語II Speaking English II/スピーキング英語II Basic English Presentation II/プレゼンテーション英語基礎II Academic Reading/アカデミックリーディング Academic Writing/アカデミックライティング Communicative English/コミュニケーションングリッシュ Current English/カレントイングリッシュ Presentation English/プレゼンテーションイングリッシュ Volunteer Abroad Program/海外ボランティア Internship Abroad Program/海外インターンシップ Short-Term Study Abroad Program/海外短期プログラム</p> <p>3 日本語開講の科目</p> <p>Japanese Academic Writing/日本語アカデミックライティング Japanese I/日本語I Japanese II/日本語II Japanese III/日本語III Japanese IV/日本語IV Japanese V/日本語V Japanese VI/日本語VI</p>		
---	--	--

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実践 英語	入門 科目	<p>In this course, students should be actively involved in many different English listening activities such as pair work, group discussions, Q&A, watching videos and dictation exercises with the method of active learning all in English. The listening activities involve real-world listening practice, featuring interesting and useful topics, authentic dialogs, supplemental listening activities related to the topic, listening quizzes and unit exams to check learning progress. This course mainly focuses on the acquisition of English listening skills. In each class, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and naturally get used to communicating in English in the English speaking environment.</p> <p>この科目において、学生はたくさんの異なる英語リスニング活動に参加する。例えば、ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ビデオ鑑賞、ディクテーションである。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。リスニング活動には、興味深く役に立つようなトピックが特徴的な、現実の世界に関するリスニング演習、本物の対話、トピックに関連した補助リスニング活動、リスニング・クイズ、学習度合いを確認するためのユニットテストが含まれている。このコースは主に、英語リスニング・スキルの習得に焦点を当てる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を話す環境において英語でのコミュニケーションに慣れることができるのである。</p>	
	Writing English I / ライティング英語 I	<p>In this course, students should be actively involved in many different English writing activities such as comparison of the writing in pair work, Q&A, and writing exercises with the method of active learning all in English. In the writing activities, one appointed student writes designated sentences or paragraphs and the students check them with comments and ideas if corrections are needed. In this way, the students have chances to express themselves in English writing and share the ideas with the classmates. The collaborative learning community is to be achieved. Writing exercises involve listening to the CD and reading aloud. In each class, a mini review test and writing homework will be given to the students so that they can intensively and naturally get used to writing English.</p> <p>この科目において、学生はたくさんの異なる英語ライティング活動に参加する。例えば、ペアワークで自分の作文を比較したり、質疑応答、ライティング演習である。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。ライティング活動において、指名された学生が指定の文あるいはパラグラフを書き、他の学生たちはもし修正が必要であればコメントやアイデアを出し合いチェックする。このようにして学生たちは自分の思いを英語ライティングの中で表現する機会が与えられ、クラスメートとアイデアを共有し合うという、協同的な学びの共同体が生まれる。ライティング演習には、CDのリスニング、音読も含まれる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を書くことに慣れることができるのである。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実践英語	入門科目	<p>In this course, students should be actively involved in many different English reading activities such as pair work, discussions, Q&A, and reading aloud exercises with the method of active learning all in English. Through reading practice on various topics, followed by interconnected vocabulary building, listening, speaking, grammar reviewing, and writing activities, this integrated comprehensive method allows students' English to rapidly improve. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and naturally get used to reading English.</p> <p>この科目において、学生はたくさんの異なる英語リーディング活動に参加する。例えば、ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、音読練習である。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。いろいろなトピックのリーディング演習を通じて、総合に連結した語彙力の強化、リスニング、スピーキング、文法復習、そしてライティング活動も行われる。この総合的に理解を促す方法により学生たちは英語を急速に上達させることが可能になる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を読むことに慣れることができるのである。</p>	
	Speaking English I / スピーキング英語 I	<p>In this course, students should be actively involved in basic English speaking activities such as pair work, group discussions, Q&A, and dictation exercises with the method of active learning all in English. This course mainly focuses on the acquisition of basic English speaking skills. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and naturally get used to communicating in English in the English speaking environment.</p> <p>この科目において、学生は基礎的な英語スピーキング活動に参加する。例えば、ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ディクテーションである。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。このコースは主に基本的な英語スピーキングスキルの習得に焦点を当てる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を話す環境において英語でのコミュニケーションに慣れることができるのである。</p>	
	Basic English Presentation I/ プレゼンテーション英語基 礎 I	<p>In this course, students should be actively involved in various basic English speech and presentation making activities. Through pair work, group discussions, Q&A, listening to CDs and dictation exercises with the method of active learning all in English, the students learn about basic skills of making presentations with PPT slides, delivery, voice training, and attitudes toward audience. Preparing presentations in groups and presenting them in front of the classmates are regarded as one of the most important practices. The classmates have discussions and reflections after each presentation, exchanging comments for better presentations and peer evaluation. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and naturally learn how to make presentations in English at the basic level in the English speaking environment.</p> <p>この科目において、学生はいろいろな基本的な英語スピーチとプレゼンテーション作成活動に参加する。ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、CDリスニング、ディクテーション演習を行う。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。学生はパワーポイントスライドを用いたプレゼンテーション作成、話し方、発声練習、聴衆に対する姿勢といった基本的なスキルについて学ぶ。グループでプレゼンを準備し、クラスメートの前で発表することは、最も重要な演習のひとつと見なされる。クラスメートはプレゼンの後でディスカッションや振り返りを行い、より良いプレゼンのためのコメントを交換し合い、ピア評価を行う。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を話す環境において、英語でプレゼンをする方法に慣れることができるのである。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実践 英語	入門 科目	<p>In this course, students should be actively involved in many different English listening activities such as pair work, group discussions, Q&A, watching videos and dictation exercises with the method of active learning all in English. The listening activities involve real-world listening practice, featuring interesting and useful topics, authentic dialogs, supplemental listening activities related to the topic, listening quizzes and unit exams to check learning progress. This course mainly focuses on the development of English listening skills. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and naturally get used to communicating in English in the English speaking environment.</p> <p>この科目において、学生はたくさんの異なる英語リスニング活動に積極的に参加する。例えば、ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ビデオ鑑賞、ディクテーションである。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。リスニング活動には、興味深く役に立つようなトピックが特徴的な、現実の世界に関するリスニング演習、本物の対話、トピックに関連した補助リスニング活動、リスニング・クイズ、学習度合いを確認するためのユニットテストが含まれている。このコースは主に、英語リスニング・スキルの向上に焦点を当てる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を話す環境において英語でのコミュニケーションに慣れることができるのである。</p>	
	Writing English II/ ライティング英語II	<p>In this course, students should be actively involved in many different English writing activities such as comparison of the writing in pair work, Q&A, and writing exercises with the method of active learning all in English. The textbook used in the 1st quarter is to be continuously used. For the last 3 lessons, the handouts on how to write from paragraph to essay are given by the teacher as the materials to be used in course. In the writing activities, one appointed student writes designated paragraphs or essays and the students check them with comments and ideas if corrections are needed. In this way, the students have chances to express themselves in English writing, sharing the ideas with the classmates. The collaborative learning community is to be achieved. Writing exercises involve listening to the CD and reading aloud. In each course, a mini review test and writing homework will be given to the students so that they can intensively and naturally get used to writing English.</p> <p>この科目において、学生はたくさんの異なる英語ライティング活動に積極的に参加する。例えば、ペアワークで自分の作文を比較したり、質疑応答、ライティング演習である。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。第1クォーターで用いたライティングのテキストを継続使用する。最後の3回の授業のみ、パラグラフからエッセイへ移行する書き方についてのハンドアウトが配布される。ライティング活動において、指名された学生が指定の文あるいはパラグラフを書き、他の学生たちはもし修正が必要であればコメントやアイデアを出し合いチェックする。このようにして学生たちは自分の思いを英語ライティングの中で表現する機会が与えられ、クラスメートとアイデアを共有し合うという、協同的な学びの共同体が生まれる。ライティング演習には、CDのリスニング、音読も含まれる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を書くことに慣れることができるのである。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実践英語	入門科目		
	Reading English II/ リーディング英語 II	<p>In this course, students should be actively involved in many different English reading activities such as pair work, discussions, Q&A, and reading aloud exercises with the method of active learning all in English. Through reading practice on various topics, followed by interconnected vocabulary building, listening, speaking, grammar reviewing, and writing activities, students will be able to brush up on their English skill. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can continuously improve their English reading abilities.</p> <p>この科目において、学生はたくさんの異なる英語リーディング活動に積極的に参加する。例えば、ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、音読練習である。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。いろいろなトピックのリーディング演習を通じて、総合に連結した語彙力の強化、リスニング、スピーキング、文法復習、そしてライティング活動も行われる。この総合的に理解を促す方法により学生たちは英語力を更に上達させることが可能になる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは継続的に英語の読解能力を向上させることができるのである。</p>	
	Speaking English II/ スピーキング英語 II	<p>In this course, students should be actively involved in basic English speaking activities such as pair work, group discussions, Q&A, and dictation exercises with the method of active learning all in English. This course mainly focuses on the development of English speaking skills. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and naturally get used to communicating in English in the English speaking environment.</p> <p>この科目において、学生は基礎的な英語スピーキング活動に積極的に参加する。例えば、ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ディクテーションである。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。このコースは主に、英語スピーキング・スキルの向上に焦点を当てる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を話す環境において英語でのコミュニケーションに慣れることができるのである。</p>	
Basic English Presentation II/ プレゼンテーション英語基礎 II	<p>In this course, students should be actively involved in many different English presentation activities which involve four English skills. Through pair work, group discussions, Q&A, watching videos and dictation exercises with the method of active learning all in English, the students learn about basic skills of making presentations with PPT slides, delivery, voice training, and attitudes toward audience. Preparing presentations in groups and presenting them in front of the coursemates are regarded as one of the most important practices. The classmates have discussions and reflections after each presentation, exchanging comments for better presentations and peer evaluation. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and naturally learn how to make presentations in English at the advanced level in the English speaking environment.</p> <p>この科目において、学生は英語4技能が含まれるたくさんのいろいろな英語プレゼンテーション活動に参加する。ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ビデオ鑑賞、ディクテーション演習を行う。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。学生はパワーポイントスライドを用いたプレゼンテーション作成、話し方、発声練習、聴衆に対する姿勢といった基本的なスキルについて学ぶ。グループでプレゼンを準備し、クラスメートの前で発表することは、最も重要な演習のひとつと見なされる。クラスメートはプレゼンの後でディスカッションや振り返りを行い、より良いプレゼンのためのコメントを交換し合い、ピア評価を行う。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を話す環境において、上級レベルでの英語プレゼンテーション法を学ぶことができるのである。</p>		

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実践 英語	Academic Reading/ アカデミックリーディング	<p>In this course, students should be actively involved in the advanced level of English reading to analyze critically, evaluate fairly and intelligently respond to texts. Through many different activities such as pair work, group discussions, Q&A, watching videos and dictation exercises with the method of active learning all in English, the students develop well-reasoned, supported opinions on a wide range of high-interest topics as they learn critical thinking and reading skills to better understand and evaluate what they read. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and rapidly develop critical thinking skills and reading skills.</p> <p>この科目では学生たちが本文を批判的に分析し、公正に評価し、知的に反応することができるよう、上級レベルの英語リーディング活動に積極的に参加する。ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ビデオ鑑賞、ディクテーションなどのたくさんの異なる演習を通じて、読み物をよりよく理解・評価するための批判的思考や読解力を習得しながら、幅広い範囲の興味深いトピックについて理路整然かつ裏付けのある意見を持てるようにする。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ急速に、批判的思考と読解力を向上させることができるのである。</p>	
	Academic Writing/ アカデミックライティング	<p>In this course, students should be actively involved in learning academic writing, essay, abstract, and scripts and slides for presentation. Formal English writing is featured through acquiring basic skills and knowledge of academic writing. In the writing activities, one appointed student writes and presents designated essays or abstracts and the students check them, sharing comments and ideas if corrections are needed. In this way, the students have chances to express themselves in English writing and share the ideas with the classmates. The collaborative learning community is to be achieved. In each course, a mini review test and writing homework will be given to the students so that they can intensively and naturally get used to writing English.</p> <p>この科目において、学生はアカデミックライティング、エッセイ、アブストラクト、プレゼンのためのスクリプトやスライドについて積極的に学ぶ。アカデミックライティングの基本的スキルと知識を身につけることを通じて、フォーマルな英語ライティングを実践する。ライティング活動において、指名された学生が指定の文あるいはパラグラフを書き、他の学生たちはもし修正が必要であればコメントやアイデアを出し合いチェックする。このようにして学生たちは自分の思いを英語ライティングの中で表現する機会が与えられ、クラスメートとアイデアを共有し合うという、協同的な学びの共同体が生まれる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ自然に、英語を書くことに慣れることができるのである。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実践 英語	基盤 科目	<p>In this course, students should be actively involved in activities to develop 4 skills through the CLIL (Content and Language Integrated Learning) method. This method features 4Cs: Content; Cognition; Communication; and Culture. Through activities such as pair work, group discussions, Q&A, watching videos and dictation exercises with the method of active learning all in English, this course focuses on the improvement of four English skills. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that the students can intensively and naturally get used to communicating in English. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and systematically develop four English skills.</p> <p>この科目において、学生はCLIL(内容言語統合型学習)を通じて4技能を発展させるための活動に積極的に参加する。この学習法は4つのCを特徴としている。Content(科目やトピック)、Communication(単語・文法・発音などの言語知識や読む、書く、聞く、話すといった言語スキル)、Cognition(様々な思考力)、CommunityないしCulture(共同学習、異文化理解、地球市民意識)である。ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ビデオ鑑賞、ディクテーションなどの活動を行う。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。このコースは英語4技能の向上に焦点を当てる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ統合的に、英語4技能を向上させることができるのである。</p>	
	Current English/ カレントイングリッシュ	<p>In this course, students should be actively involved in learning current English through reading The New York Times, The New York Times International Edition, The Japan Times, and The Daily Telegraph. Through the latest vocabulary building as well as reading about hot topics, the acquisition of logical thinking and logical expression is featured. Through many different activities such as pair work, group discussions, Q&A, watching videos and dictation exercises with the method of active learning all in English, the students develop knowledge of what is happening in the world along with how to use current English in context. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and rapidly deepen current English knowledge, and develop reading, speaking, writing and listening skills.</p> <p>この科目において、学生はニューヨークタイムズ、ニューヨークタイムズインターナショナル版、ジャパントイムズ、デイリーテレグラフを読みながら時事英語学習に積極的に参加する。最新のトピックについて読むだけでなく、最新の語彙増強を通じて、論理的思考や論理的表現の習得をするのが特徴である。たくさんの異なる英語リーディング活動に参加する。例えば、ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ビデオ鑑賞、ディクテーションである。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。学生たちはコンテキストの中での時事英語の使い方と共に、世界で今何が起きているかについての知識を向上させる。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ急速に、時事英語の知識を深め、リーディング、スピーキング、ライティングのスキルをも向上させることができるのである。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実践 英語	基盤 科目 Presentation English/ プレゼンテーションイン グリッシュ	<p>In this course, students should be actively involved in advanced level of English presentations and facilitation. Through many different activities such as pair work, group discussions, Q&A, watching DVD and dictation exercises with the method of active learning all in English, the students develop academic presentation skills such as the presentation in international conferences. Preparing presentations in groups and presenting them in front of the classmates are regarded as one of the most important practices. The classmates have discussions and reflections after each presentation, exchanging comments for better presentations and peer evaluation. In each course, a mini review test and homework will be given to the students so that they can intensively and rapidly develop academic presentation and facilitation skills.</p> <p>この科目において、たくさんのいろいろな英語プレゼンテーション活動に参加する。例えば、ペアワーク、グループ・ディスカッション、質疑応答、ビデオ鑑賞、ディクテーション演習を行う。すべての活動は英語で行われ、アクティブ・ラーニングの方法で進める。学生たちは国際学会でのプレゼンなどのアカデミックなプレゼンテーションスキルを向上させる。グループでプレゼンを準備し、クラスメートの前で発表することは、最も重要な演習のひとつと見なされる。クラスメートはプレゼンの後でディスカッションや振り返りを行い、より良いプレゼンのためのコメントを交換し合い、ピア評価を行う。毎時、復習小テスト、宿題が出され、学生たちは集中的かつ急速に、アカデミックプレゼンテーションとファシリテーションを学ぶことができるのである。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基本 ツール 科目	データサイエンス ・ ICT 入門 科目	<p>Introduction to ICT/ ICT入門</p> <p>This class aims to acquire skills to use computer and the Internet usefully for the problem-solving of our university. Student will have these skills: web searching method, data processing, image processing, composing the report, presentation, utilizing cloud services and so on.</p> <p>本科目は、本学の学びにおける課題解決にあたって、コンピュータ及びインターネット等を有効に活用する能力を身につけることを目的とする。情報の検索、データ処理や画像加工、報告書作成、プレゼンテーション、クラウドサービスの活用等について、演習を通じて身に着ける。</p>	
	Essential Programing/ プログラミング入門	<p>In this course, students asked to acquire the capability to write the codes using Python. Python is widely used in different fields such as Data Science, IoT, AI and so on. As a basic programming course, students are asked to write small Python codes to learn input/output, control flow, function, module and so on. At the end, students are asked to set the final project, developed and made presentation about their product. Students also learn version control and how to manage source codes.</p> <p>この科目では、プログラミング言語 Python を使ってプログラムを書ける能力の獲得を目指す。PythonはデータサイエンスやIoT, 人工知能など多くの現場で利用されることが多く、応用範囲が広い言語である。まずは、入門科目として、基本的な入出力、制御構文、関数、モジュールなどPythonを使ってある程度のプログラムが書けることを目的とする。そして、最終的に作るプログラムを自らが定め、開発し、完成品を最終発表する。また、ソースコードとバージョン管理の方法も合わせて学習する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基本 ツール 科目	データサイエンス・ ICT・ 入門 科目	<p>These days, many kinds of data are gathered and stored on the Internet. And huge data sets as known as Big data are utilized in many fields. During this class, students will learn how to deal with data and how to process data. Student will process data practically using statistical analysis software (such as Excel) . As a result, students will be able to determine what kind of analysis should be used based on type of data. Then, students will be able to utilize the analyzed result.</p> <p>近年、様々なデータがインターネットを介して収集され、蓄積されている。また、ビッグデータと呼ばれる大規模なデータが活用されるようになってきている。本科目では、データの扱い方や処理の方法について学ぶ。統計分析ソフト (Excel等) を用いてデータ処理を実際に行いながら、どのような場合にどのような分析を行えばよいのか、またその結果をどのように活用すべきかについて学ぶ。</p> <p>(Omnibus style / 14 classes) (オムニバス方式/全14回)</p> <p>(①Yoshinori YAMADA / 7 classes) Students will learn the basics of the data science including the acquisition and management of data, data format suitable, major methods of data analysis, descriptive statistics and and hypothetical testing. Exercises of data analysis using actual data are also made for each group. (①山田芳則/7回) データサイエンスの基礎として、データ取得やデータ管理、データ形式、主要な解析手法、記述統計、仮説検定を学ぶ。実際のデータを用いた分析演習もグループ分けして実施する。</p> <p>(②Takumi ICHIMURA / 6 classes) Students study the multivariate analysis, pattern recognition, and machine learning models mathematically by using MS Excel tools and simulation softs. (②市村匠/6回) 多変量解析、パタン認識、機械学習の基礎を数理的に学ぶと共に、Excelやシミュレーションソフトを用いて理解する。</p> <p>(①Yoshinori YAMADA, ②Takumi ICHIMURA / 1 class) (Joint) Students can make an experiment for data analysis. (①山田芳則・②市村匠/1回) (共同) データ分析実習を行う。</p>	オムニバス方式・ 共同 (一部)
	基礎 科目	Web Programming and Application Development/ ウェブプログラミングとア プリ開発	<p>In this course, students acquire skills to build the web pages for generating various services on web site. These days, there are many web pages which is dynamically modified based on inputs from users. Students will be able to build such pages, if they take this class. In this class, students use JavaScript to make dinamic pages. Consequently, students also can create smart device applications. These skills are very advantageous to Project Based Learning Cluster. Students can take this class before they take a course in PBL Cluster, in this case students can efficiently use skills in project. If students do PBL Cluster first, students may understand the necessity of skills. They can imagine the occation where they can apply skills to.</p> <p>ウェブを利用したサービスの展開を目的にウェブサイトを作成する技術を獲得することを目的とする。現在のウェブサイトによる情報発信は利用者からの入力により動的に資料が変化するように作られているものが多い。この科目を履修することで、そのようなウェブサイトの構築が可能となる。このクラスではJava Scriptを利用して動きのあるページを作る。それによりスマートフォンで動くアプリケーションも作れるようになる。これらの学びは課題解決演習科目の活動で活用が可能である。先にこの科目を学んでからPBLに取り組んだ場合は実際にプロジェクトを進める上で有用であり、PBLに取り組んでからその必然性を理解してからこの科目を学ぶのも必要性を理解できるという意味において有用であると言える。</p>

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基本 ツ ール 科 目 デ ー タ サイ エ ン ス ・ I C T ・ 基 盤 科 目	Information Delivery Method/情報発信技法	<p>In this course, students acquire various technique to deliver contents. To transmit contents to the Internet, we need to set up some kind of server and we have several ways to set it up. Students learn the way to set up servers on-premise, the way to set it up on cloud, the way to use the rental server and VPS. Thereby, students can choose appropriate way when they need to deliver their contents. To be concrete, students learn how to set up the CMS Service on cloud, how to set up rental server and how to set up web server on VPS. Students learn how to install LAMP. Then students can learn from basics to advanced way to deliver contents. In addition, students learn minimum UNIX operation to play with VPS.</p> <p>ウェブを利用した情報発信方法を学ぶ授業。ホスティングサービスの利用に始まり、自らLAMP（もしくはXAMPP）環境を構築しての情報発信を行う。現在のコンピュータネットワークを使った情報発信技術の標準的な手法を学び、実際に自らのサーバを立ち上げ情報発信するところまで学ぶ。具体的にはクラウド上にサーバを用意し、OS(Linux)とWebサーバとしてのApache、データベースとしてMySQL、サーバサイドウェブアプリケーション構築に使われるPHPを実際に導入する。</p>	
	Problem Solving with IoT/IoT利用による問題解決	<p>In this course, students will learn how to describe environmental information in digit and acquire skills to control and transmit. First, students will grasp the component technologies such as sensors, computer network and backend system to understand how IoT works. Second, students will work how to describe environmental information in digit using a single-board computer with various sensors. At the end, students need to find a issue that ICT can solve and develop the prototype service to solve that issue.</p> <p>この授業では、ICTを使って世の中の問題を解決することを目的に身の回りの状況をデジタル情報で表し、情報発信、制御できる力を身につける。まずIoTを支える要素技術（センサー・ネットワーク・バックエンドシステム）を学び、IoTがどのように動作するのか全体像を把握する。また、各種センサーを接続したシングルボードコンピュータを用い、身の回りの状況をデジタル化する方法を学ぶ。最後に、学生自らがICTを利用して解決できそうな問題を発見し、開発演習を通じてプロトタイプ版のサービス完成を目指す。</p>	
	Introduction to Data Science B/ データサイエンス概論B	<p>In recent years, various data has been collected and accumulated via the Internet. In addition, large-scale data called big data is being used. In this course, based on the content of learning from "Introduction to Data Science A," students learn the mathematical methodology and acquire how to handle and process practicable data, including open data and benchmark data. In addition, students learn what kind of analysis should be performed and how to use the results while actually performing more advanced data processing using statistical analysis software such as Python.</p> <p>近年、様々なデータがインターネットを介して収集され、蓄積されている。また、ビッグデータと呼ばれる大規模なデータが活用されるようになってきている。本科目では、データサイエンス概論Aの学修内容を踏まえ、より数理的な方法を学び、オープンデータやベンチマークデータなど実用可能なデータの扱い方や処理の方法について学ぶ。統計分析ソフト(Python等)を用いて、より高度なデータ処理を実際に行いながら、どのような場合にどのような分析を行えばよいのか、またその結果をどのように活用すべきかについて学ぶ。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基本 ツール 科目 データサイエンス I C T ・ エ ン ス 基 盤 科 目	Data Analysis and Statistical modeling/ データ分析と統計モデリング	<p>Based on the content of learning from “Introduction to Data Science A,” students learn the characteristics of uncertain phenomena based on the observed data, estimate the probability distribution of future observations, and learn the basics of statistical modeling that contributes to prediction and control. Students also conduct practical data analysis by selecting appropriate processing and modeling techniques for various types and formats of data. You will learn statistical modeling, bivariate relationships, correlations and causality, regression models, predictive models, and more through Python-based exercises.</p> <p>データサイエンス概論Aの学習内容を踏まえ、観測されたデータに基づいて、不確実な現象の特性を捉え、将来の観測値の確率分布を推定し、予測や制御に資する統計的モデル化の基礎を学習する。様々な種類・形式のデータに対して、適切な処理やモデル化手法を選択して、実践的なデータ分析を行う。統計的モデリング、2変量間の関係、相関と因果、回帰モデル、予測モデルなどを、Pythonを使った演習を通じて学ぶ。</p>	
	Data Visualization/データ可視化法	<p>For efficient data visualization, students will learn the information expression and feature extraction to detect the signal with functional meanings from the large quantity of multi-dimensional data and to contemplate the analyzed result. During this class, the basic theory and application example of data visualization will be introduced. And students work on statistical method with result visualization such as cluster analysis.</p> <p>データの効果的な可視化のために、大量の多次元データから意味のある信号を検出する際や解析結果の考察のために、情報自体の表現法、特徴抽出などの理解を深める。本講義では情報の可視化に関する基礎理論から応用例、最新研究などを紹介しながら、クラスター分析など結果の可視化が必要な統計手法についてPythonを使った演習を通じて、理解を深める。</p>	
	Practical Data Science/ データサイエンス実践論	<p>We are facing the world that the issues will be solved by data-driven method because of all things are connected to the Internet using IoT technology. Students will learn various technologies about big data and application cases in omnibus form. And students also understand the usage of big data and practical data analysis method through exercises.</p> <p>現場経験者をゲストスピーカーとして招き、データサイエンティストとして基本的な知識を様々な事例を通じて学ぶ。ビッグデータに関する様々な技術や適用事例をオムニバス形式で紹介し、課題演習により、ビッグデータの活用方法や実践的なデータ分析方法について理解を深める。</p>	
	AI and Business Application/ AIビジネス活用論	<p>Because of all things are connected to the Internet using IoT technology, we are facing the world that the issues will be solved by data-driven method. Under this circumstance, it is important to find the valuable solutions in what way. During this class, students will study how to solve the issue using AI such as machine learning and deep learning, what kind of data we should utilize in business, the basic theory, application examples and the latest research are introduced and students do exercise using Python to learn examples of utilization.</p> <p>IoTにより、すべてのものがインターネットとつながり、データ駆動で社会課題が解決される世の中が到来しようとしている。そのような中で、いかに価値ある解決策を導きだすかが重要になってくる。本講義では、機械学習や深層学習などのAIを用いることで、与えられた課題をどのように解決に導くのか、またビジネスにおいてどのようなデータを活用すべきか、AIの基礎理論から応用例、最新研究などを紹介しながら、Pythonを使った演習を通じて、活用例を学ぶ。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基本 ツ ール 科 目	入 門 科 目	<p>Logical thinking is a necessary skill that everyone needs to find and solve problems. In this course, students will understand the basic concepts of logical thinking. Students will also acquire the basic skills of logical writing and communication as well as structural understanding of things based on logical thinking.</p> <p>This course consists of a lecture on the basic concepts and tools, exercises such as individual work and group work based on it, and finally an individual presentation.</p> <p>ロジカルシンキングは、問題発見や問題解決するために必要なスキルである。本科目では、ロジカルシンキングの基本的な考え方を理解する。また、それに基づき、物事を構造的に捉えるとともに、ロジカルライティングやロジカルコミュニケーションの基礎的なスキルを習得する。</p> <p>本科目は、基本的な考え方とツールのレクチャー、それに基づく個人ワークやグループワーク等の演習、そして最後の個人プレゼンテーションで構成される。</p>	
	思 考 系	<p>Design thinking and system thinking is a skill that everyone needs to find and solve problems. In this course, students will understand the basic concept of design thinking and system thinking. Students understand the basic tools and techniques of both thoughts and learn through exercises.</p> <p>This course consists of a basic concept, a lecture of tools, exercises such as individual work and group work based on it, and finally a personal presentation.</p> <p>デザイン思考とシステム思考は、問題発見や問題解決するために必要なスキルである。本科目では、デザイン思考とシステム思考の基本的な考え方及び両思考の基本的なツールや技法を理解するとともに、観察や問題の構造化、プロトタイプ、提案等の一連の流れを演習を通じて修得する。</p> <p>本科目は、基本的な考え方とツールのレクチャー、それに基づく個人ワークやグループワーク等の演習、そして最後の個人プレゼンテーションで構成される。</p>	
	基 盤 科 目	<p>This course introduces basic principles and core skills / tools for project management, which can be used for problem-solving in various fields. The course will begin with short lectures outlining key processes and tools involved in project management (planning, implementation and monitoring & evaluation, etc.) followed by exercises to apply those skills in real-life challenges.</p> <p>本科目では、プロジェクトマネジメントのプロセスと知識体系を理解する。プロジェクトマネジメントのツールと技法を学び、演習により実際の問題にどう適用できるかを理解する。プロジェクト計画の流れを学び、演習により、実際の作成方法を理解する。</p> <p>本科目は、基本的な考え方とツールのレクチャー、それに基づく個人ワークやグループワーク等の演習で構成される。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
基本 ツール 科目	思考系 基盤 科目	<p>Facilitation/ ファシリテーション</p> <p>Facilitation is a process skill for both management and group communication, to guide a group of people move through a process together in the most inclusive manner. Effective leaders use facilitation skills in occasions such as meetings, planning sessions, and to mobilize people for particular purposes. This course introduces basic principles, processes and core skills / tools for facilitation. Each class will begin with a short lecture to outline key processes and tools used in facilitation, followed by exercises to apply those skills in small groups. A series of group work will be organized to gain hands-on experiences to plan an effective meeting, agenda-setting, team-building, and to manage discussions etc. for intended results.</p> <p>ファシリテーションとは、特定の集団が会議や意見交換等を通じて意思決定を行う際に、中立の立場から意見の集約を図りインクルーシブな合意形成を促す、マネジメントおよびコミュニケーション技法である。本科目ではファシリテーションのプロセスと知識体系を理解する。ファシリテーションの基本的なツールと技法を学び、演習により実際の問題にどう適用できるかを理解する。ファシリテーションに基づくチームビルディングについて、演習を通じて習得する。チームビルディングの流れを学び、演習により、実際の進め方を理解する。本科目は、基本的な考え方とツールのレクチャー、それに基づく個人ワークやグループワーク等の演習（プレゼンテーション）により構成される。</p>	
		<p>Japanese Academic Writing/ 日本語アカデミックライ ティング</p> <p>日本人だからといって、日本語の文章を書けるとは限らない。ましてや「論文」や「レポート」を書くためには、一定のノウハウが必要である。大学生活においては、レポートや論文を書く機会がしばしばある。そして社会に出てからも、同様の文章を書く必要性は求められ続ける。 本科目は、「レポート」や「エッセイ」も含めて、広い意味での論文を書くためのノウハウを身につけることを目的とする。レクチャーだけではなく、トレーニングも実施する。 本講義は、リーディングアサインメント（読書課題）とショートレクチャーなどから構成される。 なお、本科目の名称は「日本語アカデミックライティング」ではあるが、受講者が習得する知識や方法の本質は、英文での論文やレポートの執筆にも役立つものである。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
リベラルアーツ科目 入門科目	導入	<p>This course is a core course that provides an overview of social system design to systematically learn it and prepares for the four years learning. Students will learn: What is the goal of social system design? What is its definition? In a changing social environment, why is liberal arts based at our faculty important? What do you learn there? Students will also learn about the basic skills of thinking and the importance of ICT literacy and their overview. This course will explain the significance of communication based on language skills, PBL (project based learning), experience and practice programs, and the fourth-year Degree Project. Then, this course will tell students about the learning attitude they should have.</p> <p>本科目は、ソーシャルシステムデザインを体系的に学習するためにその全体像を示し、今後の4年間の学びを展開していくためのコア科目である。ソーシャルシステムデザインが目指すもの、その定義、必要とされる社会環境の変化を踏まえた上で、本学部が基盤としているリベラルアーツがなぜ必要とされるのか、そこで何を学ぶのか、について受講生は理解する。加えて、基本的なスキルとなる思考力とICTリテラシーの重要性と、それらの概要について説明する。最後に、語学力を前提としたコミュニケーション、実践としてのPBL(課題解決演習)や体験実践、それに4年次の卒業プロジェクトの意義を説明した上で学生個々にこれから4年間かけて取り組んでもらうべき姿勢について伝える。</p>	
	人	<p>Introduction to Art and Literature/ 芸術・文学入門</p> <p>This course provides students with the knowledge and skills required to realize the SDGs, through learning about the history of art and literature and their function in society. However, the course does not simply follow a historical outline. Instead, we explore important aspects in the discovery of new forms and mediums of expression, their content and signification. What challenges and contradictions have the authors faced? How have these forms of expression influenced society? How cultural representation relates to the issues of identity, gender, power, social change, and empowerment? The course aims to consider in depth such questions and help students cultivate analytical thinking and capability to speak in their own words. Students will focus on Japanese art and literature in comparative perspective with Western and Asian artistic and literary forms.</p> <p>このコースは、芸術と文学の歴史と社会におけるその機能について学ぶことを通じて、SDGsを実現するために必要な知識とスキルを学生たちに提供する。しかしながら、このコースは単に歴史的なアウトラインを追うだけではない。このコースでは、新しい表現形式と表現媒体、それらの内容と意味の発見における重要な側面を探索する。作者たちはどのような課題と矛盾に直面してきたのか？ これらの表現は社会にどのような影響を与えてきたのか？ 文化的表象は、アイデンティティや性別、権力、社会の変化、エンパワーメントといった諸問題とどのように関係するのか？ このコースは、こうした問題を深く検討し、学生たちが分析的思考と自分の言葉で話す能力を養うことを手助けする。西洋とアジアの芸術および文学の形式との比較という視点で、日本の芸術と文学に焦点をあてる。</p>	
	人	<p>Introduction to Philosophy and Ethics/ 哲学・倫理学入門</p> <p>Students will be introduced to fundamental philosophical and ethical issues and philosophers' views on these issues in the history of Western philosophy. Students will use both philosophical arguments and everyday examples to understand the issues and key concepts concerning human knowledge, freedom, and responsibility. This way of thinking is important for fair and inclusive societies in which the human rights of all people are respected. Students will learn how to analyze and evaluate philosophical arguments in order to understand the philosophers' writings and present compelling arguments of their own. With the acquisition of philosophical knowledge and argumentative skills at hand, each student, as a person and a citizen in society, will be ready to pursue moral values and rational decision-making.</p> <p>本科目では、基本的な哲学的・倫理的問題と、西洋哲学の歴史におけるこれらの問題についての哲学者の見解を紹介する。哲学的な議論と日常的な例を使用して、人間の知識や自由、責任についての問題と考え方を理解する。そうした考え方は、すべての人の人権が尊重される公正で包括的な社会のために重要である。哲学者たちのテキストを理解し、自分自身で説得力のある議論を提示できるように、哲学的議論を分析・評価する方法を学ぶ。受講生は哲学的知識と議論のスキルを獲得することで、1人の人間として、そして社会における市民として、道徳的価値と合理的な意思決定を追求するための準備を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
リベラル アーツ 科目	入門科目	社会	<p>Introduction to Economics/ 経済学入門</p> <p>This course aims to understand the basics of the economy in order to gain an understanding of resource allocation between economic agents, and to learn basic economic principles. Understand the basic characteristics of Japanese households, businesses and governments based on their own economic activities, understand the behavior of each of them based on economic theory, and discuss economic activities in a resource recycling society.</p> <p>本科目は、経済主体間の資源配分に理解を持つために経済の基礎を理解することを目的とし、基本的な経済原則を学ぶ。自分自身の経済活動を踏まえて、日本の家計、企業、政府の基本的特徴を理解し、それら各主体の振る舞いについて経済理論をもとに理解するとともに、資源循環型社会における経済活動について議論する。</p>	
		社会	<p>Legal Mind/ 法的思考</p> <p>When we actually apply the law, we need to know the facts accurately and make an accurate judgment through the interpretation of the law. The ability and attitude to make such a judgment is called "legal mind". In this course, students are expected to learn the principles of modern law and learn a wide range of practical legal systems that are useful for starting a business in society and dealing with various conflicts. Students will acquire the legal mind they need as a member of society.</p> <p>This course is designed for students to understand the structure of laws and judicial systems such as public law, private law, international law, etc., to acquire knowledge about laws and legal systems that are useful to society by using case studies, to acquire research and presentation skills necessary for legal debate.</p> <p>法律を実際に適用する際には、事実を正確に把握し、法の解釈を通じた的確な判断が必要になる。そういった判断を行う能力や態度のことを「法的思考（リーガルマインド）」という。本科目では、近代法の諸原則を学ぶとともに、社会において起業したり、各種紛争に対処していくために役立つ実践的な法制度を広くカバーし、社会人として必要となるリーガルマインドを涵養することを目的とする。</p> <p>本科目では、公法、私法、国際法を含む法律と裁判制度の成り立ちを理解し、ケーススタディを使うことによって社会で役立つ法律と法制度に関する知識を習得し、法律をめぐる議論に必要なリサーチとプレゼンの能力を獲得することをめざす。</p>	
		自然	<p>Introduction to Environmental Studies/ 環境学入門</p> <p>Global environmental problems have long been recognized as important issues for the governments and citizens all over the world. However, some of the students may not understand the basic structure of the issues due to lack of basic scientific knowledge, even though they are aware of the importance of environmental problems. In this course, students aim to make students use their knowledge of physics, chemistry, biology, and geology to understand and address environmental issues such as ozone depletion, global warming, acid rain, reduction of tropical rainforests and desertification.</p> <p>地球環境問題が、世界の政府や市民にとって、重要な問題であると認識されるようになってすでに久しい。しかしながら、学生諸君のなかには、環境問題が重要であることは認識していても、基本的な科学知識の不足から、問題の基本構造を理解していない者もいるだろう。本科目は、オゾン層の破壊、地球温暖化、酸性雨、熱帯雨林の減少、砂漠化といった環境問題とその対策を理解するために、物理学、化学、生物学、地学の知識を活用できるようにすることを目的とする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
リベラル アーツ 科目	自然	<p>The course outlines ethics of science and technology, including its definition, the reason why it is important today, and typical cases where such ethics matters.</p> <p>本科目は、科学や技術をめぐる倫理を概観する。その定義、今日それが重要である理由、そして科学技術倫理が重要となる典型的事例などを扱う。</p> <p>(Omnibus style / 14 classes) (オムニバス方式/全14回)</p> <p>(5Gensei ISHIMURA / 7 classes) ISHIMURA oversees the whole. ISHIMURA conducts short lectures focusing on engineer ethics, information technology ethics, etc., presents issues, and promotes group work. (5石村源生/7回) 全体を統括し、技術者倫理、情報技術の倫理などを中心にショートレクチャーを行い、課題を提示し、グループワークなどを促進する。</p> <p>(5Gensei ISHIMURA, 20Junji KAYUKAWA / 7 classes) (Joint) ISHIURA and KAYUKAWA jointly present discussion topics on topics such as research fraud and bioethics, and conduct short lectures and promote group work. The two then facilitate the overall discussion in a summary. (5石村源生・20粥川準二/7回) (共同) 石村と粥川が共同で研究不正、生命倫理などのテーマでディスカッションの話題を提示し、ショートレクチャーなどを行ったり、グループワークを促進したりする。さらにまとめにおいて全体ディスカッションをまとめる。</p>	オムニバス方式・ 共同 (一部)
	入門科目	<p>Introduction to Mathematics/ 数学入門</p> <p>In this course, students will learn the basics of mathematics required at university based on the contents of high school mathematics. Students will learn "linear algebra" dealing with matrix and vector operations and linear mapping, "differential integration" dealing with differentiation and integration of function of one variable, "introduction to statistics" that deals with the descriptive statistics, probability distributions, and tests.</p> <p>本科目では、受講生は、高校数学の学修内容をふまえて、大学で必要となる数学の基礎を学ぶ。行列とベクトル演算や線形写像を扱う「線形代数」、1変数関数の微分法と積分法を扱う「微分積分」、記述統計、確率分布、検定を扱う「統計学入門」を学修する。</p>	
	入門 選択	<p>Introduction to Health Science/ 健康学入門</p> <p>This course provides theories and methods for how exercise and sports are related to health and physical strength. In the first half, students will learn theories about maintaining health and improving physical strength by examining questions such as "What is health?", "What is physical strength?". In the second half, students will learn specific methods to help maintain health and improve physical fitness by actually performing training at the playground. Through this process, we will understand the health status of modern Japanese and the relationship between exercise and sports and health. You also will learn what changes exercise causes to your body and how those changes are related to maintaining and improving your health and fitness.</p> <p>本科目では、運動やスポーツが健康や体力とどう関係しているかということについて、その理論と方法に取り組む。前半では、「健康って何だろう?」、「体力があるってどういうこと?」といった疑問を検討することを通じて、健康維持や体力向上についての理論を学ぶ。後半では、実際に運動場などでトレーニングなどを行うことによって、健康維持や体力向上に役立つ具体的な方法を身につける。その過程を通じて、現代の日本人の健康状態や運動やスポーツと健康のかかわりを理解したうえで、運動は身体にどのような変化を起こすのか、さらに、そうした変化が健康や体力の維持や向上にどのようにかわるのかを学ぶだろう。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
リベラル アーツ 科目 基盤 科目	人	Introduction to Psychology/ 心理学概論	<p>Given our societies become more diverse and global, it is important for us to be a person with broaden multifaceted perspectives. Thus, the purpose of this course is to obtain various types of knowledge of human mind activities and to explore mechanisms of such activities. Specifically, students learn what mechanism is used for advanced human activities such as "perception", "memory", "learning / education", "intelligence / thinking", "problem solving", and "emotion".</p> <p>多様化・グローバル化する社会において、大域的視点から多面的に物事を考える人間として成長することは重要である。そのために本講義では、人間の心の営みに関する様々な知見を整理し、その特徴を明らかにしつつ、さらにその背景にあるメカニズム（機序）を探求する学問である心理学の領域の教養を深めることを目的とする。</p> <p>具体的には「知覚」「記憶」「学習・教育」「知能・思考」「問題解決」「感情」といったヒトの高度な活動がどのようなメカニズムによって営まれているかを学ぶ。</p>
		Peace Studies/ 平和論	<p>Hiroshima is the first place in the world where an atomic bomb have been dropped, and has been able to recover from its massive damage. It would be very meaningful to think fundamentally about peace in Hiroshima. The UN SDGs (Sustainable Development Goals) goal also states "peace, justice and strong institutions". In this course, students will acquire the knowledge and methodology necessary for a fundamental and practical examination of peace and its construction.</p> <p>In this course, students will understand peace and related concepts as knowledge and methodologies necessary for fundamental and practical examination of peace and its construction. In addition, the students aim to come up with ideas that lead to the building of peace by knowing the outline and history of various issues related to "security".</p> <p>広島は、世界で初めて原子爆弾を投下された地であり、その甚大な被害からの復興をなした地でもある。その広島で、平和について根本から考えることには、大きな意義があるだろう。また国連のSDGs（持続可能な開発目標）のゴールにも、「平和と公正をすべての人に」が掲げられている。本科目では、平和やその構築について、根本的かつ実践的に検討するうえで必要な知識や方法論として、平和とその関連概念について理解し、「安全保障」をめぐる諸問題の概略と歴史をつかむことを通して、平和の構築に繋がるアイデアを自分なりに発案することを目指す。</p>
		Religion and History/ 宗教と歴史	<p>Religion is still the heart of many people, even in a modern society with advanced science and technology. Of course, it can not be ignored that religion has continued to cause global tragedy, such as war and accompanying mass killing and environmental destruction. On the other hand, the importance of religion is still high. For example, the United Nations has launched a partnership with the FBO (faith-based organization) to achieve SDGs, including environmental issues.</p> <p>In this course, students will comprehensively learn about the formation process and characteristics of major religions in the world, and the history that these religions have brought to the interrelations of each country, such as war, trade, and mission. This course consists of reading assignments, group discussions, and commentary by the instructor. The instructor specifies the documents and distributes them. The nominated person (or nominated group) summarizes the content of the literature and presents questions. In response, group discussions and general discussions take place. The instructor will explain the issues as needed.</p> <p>宗教は科学技術の進んだ現代社会においてもなお、多くの人々において心の支えになっている。もちろん宗教が戦争やそれに伴う大量殺戮や環境破壊など、世界的な悲劇を引き起こし続けてきたことも無視できない事実であろう。その一方で、宗教の重要性はいまなお高い。たとえば国連は、環境問題を含むSDGsの達成のために、「FBO（信仰を基盤とする団体）」との連携を開始している。</p> <p>本科目では、世界の代表的な宗教について成立事情や特徴などを学ぶと同時に、戦争や交易、布教活動など、それら宗教が各国の相互関係にもたらしてきた歴史を総合的に学ぶ。</p> <p>本科目は、リーディングアサインメントとグループディスカッション、講師による解説で構成される。講師は文献を指定して、それら配布する。指名された者（またはグループ）は文献の内容を要約し、疑問点を提示する。それに応じて、グループディスカッションおよび全体でのディスカッションが行われる。講師が論点を説明する。</p>

授 業 科 目 の 概 要				
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	基 盤 科 目	社 会	<p>Introduction to Business Administration/ 経営学概論</p> <p>As the goals to be achieved by 2030 are set as SDGs (Sustainable Development Goals), companies need to manage this achievement as a core strategy. In this course, students will learn the basic theories, issues, and technical terms of business administration, master the principles, and acquire the ability to consider actual management phenomena.</p> <p>2030年までに達成する目標が、SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)として定められ、企業もこの達成をコア戦略として運営していく必要がある。本科目では、経営学の基本的な理論と論点、専門用語を学び、その原則を修得し、現実の経営現象を考察する能力を身につける。</p>	
			<p>Introduction to International Cooperation and Security/ 国際協力・安全保障概論</p> <p>In recent years, technological development and economic globalization have continually changed the relationship between countries. As a result, there is a growing need for the world to work together on global issues. Now that people, goods, and money have easily crossed borders, one country's issues can easily become global issues.</p> <p>For this reason, countries around the world have set sustainable development goals (SDGs) with the keyword "No one left behind" through the United Nations, and are trying to solve various problems in a sustainable and humane manner. On the other hand, despite the efforts of the countries and the United Nations, there is a glimpse of the rise of nationalism that denies multilateralism, and it is also true that there are frequent conflicts around the world.</p> <p>近年、技術の発展や経済のグローバル化により、国と国との関係は絶え間なく変化している。そのため、地球規模の課題に世界が一丸となって取り組む必要が高まっているのだが、同時に多国間主義を否定するナショナリズムも台頭してきている。ヒト・モノ・カネが国境を越えることが容易になった現在、一国の課題が容易に地球規模の課題になることもある。</p> <p>このため世界各国は国連を介し、「No one left behind (誰一人取り残さない)」をキーワードとする持続可能な開発目標 (SDGs) を定め、様々な問題を持続的かつ人道的に解決しようとしている。一方で、各国や国連などの努力にもかかわらず、多国間主義を否定するナショナリズムの台頭も垣間見られ、世界各地で紛争が頻発しているのも事実である。</p> <p>(Omnibus style / 14 classes) (オムニバス方式/全14回)</p> <p>(10Sue TAKASU / 3 classes) TAKASU conducts short lectures on topics related to "security", supervises group work, and evaluates issues. (10高須司江 / 3回) 主に「安全保障」に関係するテーマの回において、ショートレクチャーを行い、グループワークなどを統括し、課題の評価を行う。</p> <p>(21Motoko SEKO / 3 classes) TAKASU conducts short lectures on topics related to "international cooperation", supervises group work, and evaluates issues. (21瀬古素子 / 3回) 主に「国際協力」に関係するテーマの回において、ショートレクチャーを行い、グループワークなどを促進し、課題の評価を行う。</p> <p>(10Sue TAKASU, 21Motoko SEKO / 8 classes) (Joint) In the general theme round, TAKASU and SEKO will conduct short lectures, promote group work, and evaluate assignments, class participation, and reports. (10高須司江・21瀬古素子/8回) (共同) 総論的なテーマの回において、ショートレクチャーを行い、グループワークなどを促進する。課題や授業への参加、レポートなどを評価する。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
リベラル アーツ 科目 基盤 科目	社会	<p>Introduction to Sociology/ 社会学概論</p> <p>What is "society"? It is not just a gathering of people. There is a kind of "solidarity" there. In order to build a peaceful society, it will be essential to maintain and strengthen that solidarity. The relation between society and solidarity was a major concern of the founders of sociology.</p> <p>In this course, students will learn the basics of sociology by tracing how the founders of sociology examined the concepts of "society" and "solidarity" from a historical point of view.</p> <p>「社会」とは何だろうか？ それは単なる人々の集まりではない。そこにはある種の「連帯」が必ず存在する。平和な社会を築くためには、その連帯を整備し、鍛えることが不可欠であろう。社会と連帯との関係は、社会学の開祖たちの大きな関心事であった。</p> <p>本科目では、受講者たちは、社会学の開祖たちが「社会」や「連帯」という概念をどう検討してきたか、その歩みをたどり、社会学の基礎を学ぶことになる。</p>	
	自然	<p>Introduction to Bioethics/ 生命倫理学概論</p> <p>News about biotechnology such as iPS cells, genome editing, and assisted reproductive technology is reported almost every day. In this course, students will learn how such biotechnologies interact with human society through reading assignments, particularly focusing on ethical issues.</p> <p>iPS細胞、ゲノム編集、生殖補助医療といったバイオテクノロジー（生命工学）についてのニュースが毎日のように報じられている。本講義では、そうしたバイオテクノロジーが人間社会とどのような相互作用を起こしているか、とくに倫理問題に着目しつつ、リーディングアサインメントを通じて学んでいく。</p>	
	自然	<p>Introduction to Artificial Intelligence/ 人工知能概論</p> <p>Artificial intelligence began in the middle of the 20th century and has brought various changes to our lives through scientific and technological innovation. While society benefits from it, negative aspects need to be considered.</p> <p>This course explains the history of evolution and transformation of artificial intelligence in accordance with technologies such as control, inference, and learning. Furthermore, we will consider the social impact in situations where artificial intelligence has contact with humans, such as robots in living environments and medical diagnosis systems. Then, we will discuss the responsibilities of humankind in utilizing artificial intelligence in a discussion style.</p> <p>人工知能は、20世紀中頃から始まったが、これまでに科学技術のイノベーションによって、我々の生活にさまざまな変革をもたらされている。社会はその恩恵を受ける一方、負の面についても検討が必要となっている。本講義では、人工知能の進化と変革の歴史を、制御、推論、学習などの技術に合わせて説明する。さらに、生活環境でのロボット、医療における診断システムなど、人工知能が人との接点をもつ場面における社会的影響を考え、人類が人工知能を活用する際の責務についてディスカッション形式で説明する。</p>	
	自然	<p>Mathematical Thinking/ 数学的思考法</p> <p>In this course, students will deeply understand the basic concepts, principles and laws of mathematics, improve their ability to consider and express events mathematically, and cultivate the foundation of creativity. Students will acquire logic as well as mathematical thinking ability to analyze problems and read and solve their structures. In addition, students will learn mathematical thinking that is actively utilized in various fields of society and judged based on mathematical rationale.</p> <p>本科目では、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。受講生は論理性を身につけると同時に、問題を分析しその構造を読み取って解決する数学的思考能力を身につける。そのうえで社会の様々な分野での課題に積極的に活用し、数学的論拠に基づいて判断する数学的思考を学修する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
リベラル アーツ 科目	人 アイ デン ティ ティ デ ザ イ ン 発 展 科 目	Philosophy and Ethics/ 哲学・倫理学	<p>Philosophy is a discipline that explores the fundamental principles of the world and humans. It is no exaggeration to say that all academic disciplines, including natural sciences, were differentiated from philosophy. And ethics as a branch of philosophy is an academic discipline that explores the basis of norms.</p> <p>In this course, students will learn the latest topics on science and technology, politics, society, and the philosophical "thought experiment", and acquire knowledge and ways of thinking in philosophy including ethics (moral philosophy). Students will not only be surprised at the accumulated wisdom from ancient times, but will be able to use it to deepen their thinking.</p> <p>哲学とは、世界や人間の根本原理を探究する学問分野である。自然科学を含むすべての学問分野は哲学から分化した、と述べても過言ではない。そして、哲学の一分野としての倫理学とは、規範の根拠を探究する学問分野である。本科目では、受講者は、科学技術や政治、社会をめぐる最新トピックや、哲学的な「思考実験(thought experiment)」を学び、倫理学(道徳哲学)をはじめとする哲学の知識と思考法を獲得する。受講者は、古代から積み重ねられてきた叡智に驚くだけでなく、それを自分の思考を深めるために使いこなせるようになるだろう。</p>	
		Studies in Diversity and Multiculturalism/ 多文化共生社会論	<p>In today's society, where globalization, declining birthrate, and population ageing are all advancing, it is essential to create a society where diverse people can live safely and play active roles regardless of nationality, gender, age, sexual orientation, disability, faith, etc. Sustainable Development Goals (SDGs) recognize gender equality as well as reducing inequality both within and across nations as essential goals in order to address global challenges and to build sustainable societies. In this course, students will understand existing diversities of individuals and communities (groups of parties), with behind the diversity is constructed. Students will also consider what challenges these diversities may cause in modern society and can be a clue to solving them. The purpose of this course is to obtain the perspective and basic knowledge necessary for the formation of a multicultural society.</p> <p>グローバル化や少子高齢化などが進む現代社会では、国籍や性別、年齢やセクシュアリティ、障がいの有無や信仰などに関係なく多様な人が安心安全に暮らし、活躍できる社会を作っていくことが不可欠である。また世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会を作るためにもジェンダー平等や国内外での不平等の解消が必要とされ、SDGsのゴールにも含まれている。本科目では個人やコミュニティ(当事者の集団)が持つダイバーシティ(多様性)とその多様性を生み出す背景を理解した上で、現代社会の中でそれらの多様性がどのような課題の原因となり、また解決の糸口となり得るかを考え、多文化共生社会の形成のために必要な視点と基礎知識を得ることを目的とする。</p>	
		Media Studies/ メディア論	<p>We are surrounded by a variety of media in our lives. The ability to understand and use information conveyed by media is called "media literacy".</p> <p>In this course, students will learn about the history of media, the basics of media sociology, topics related to recent media, such as books, newspapers, radio, movies, television, and the Internet. Students will be able to acquire media literacy suitable for "post truth" era. It is the goal of this subject to acquire literacy and sense to detect "fake news" and demagogies.</p> <p>私たちは様々なメディア(媒体)に取り囲まれて生活している。メディアの伝える情報を読み解き、使いこなす能力のことを「メディアリテラシー」という。</p> <p>本科目では、学生たちは、書籍や新聞、ラジオ、映画、テレビ、インターネットなど、メディアの歴史やメディア社会学の基礎、近年のメディアにまつわるトピックを学び、「ポストトゥルース」時代にふさわしいメディアリテラシーを身につける。「フェイクニュース」やデマを見抜くリテラシーとセンスを身に付けることを目指す。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
リベラルアーツ科目 発展科目 アイデンティティデザイン	人	<p>Japanese Culture Studies/日本文化論</p> <p>Understanding and appreciating cultural differences and ensuring diversity in society are crucial for the realisation of SDGs. Additionally, understanding Japanese culture is essential not only for foreign students but also for Japanese students. In this course, students learn about Japan's FUDO (climate), relationships with neighboring countries, and cultures formed based on the society of each era. In addition, students will examine how Japan has accepted foreign cultures and created new forms, and how Japanese culture has been accepted and recognized by the world. This subject focuses on Japanese literature, painting, Buddhist art (such as Buddha statues), crafts, and architecture.</p> <p>SDGsの実現には、異文化の理解や社会における多様性の確保が欠かせない。日本文化の理解は、外国人留学生にとってはもちろん、日本人学生にとっても、不可欠である。本科目では、日本の風土や近隣諸国との関係性、各時代の社会を基に形成された文化にふれながら、とくに、日本の文学・絵画・仏教美術（仏像など）・工芸・建築において、日本は外来文化をいかに受容し、新たなかたちを生み出したのか、また、日本文化は世界にどのように受容され、認識されているか、について考える。</p>	
	人	<p>Cross-Cultural Studies/異文化論</p> <p>Humans are "social animals". But each society has developed its own culture. For example, the notions of life and death differ greatly from culture to culture. There are also significant cultural differences in mundane daily activities such as eating habits, clothing, and so on. The purpose of this course is to comprehend the characteristics of different cultures through comparison. Students will particularly focus on performance as cultural representation, related to the issues of gender, status, identity and power. Students will use their language skills, acquired in practical English, to read, view and interpret literary and visual works created in English, and discuss their possible interpretations. Through this process, students will gain the ability to understand and value cultural differences, and thus will broaden their viewpoint.</p> <p>人間は社会的動物であるが、それぞれの社会はそれぞれ固有の文化を持っている。たとえば、生と死をめぐる観念は文化によって大きく異なる。食生活など日常的な行為でも文化による差は大きい。本科目では異なる文化を比較することを通して、それぞれの文化の特徴を相対的に理解することを目的とする。たとえば、受講生は実践英語で身につけた英語スキルを活用し、英語で創作された文学や映像作品を読解し、その解釈を議論する。その過程を通じて、文化の差異を把握できる能力を獲得することをめざす。</p>	
	人	<p>Introduction to Philosophy of Science/科学哲学概論</p> <p>In order for many people to understand a thing—especially those with different specialties and positions—you must clearly show the relevance of individual words. In other words, "logic" is necessary. "The purpose of philosophy is the logical clarification of thought" (L. Wittgenstein, Tractatus Logico-Philosophicus). In this course, students will learn the basics of philosophy in a field called "Philosophy of Science", "Analysis Philosophy", or "Logic". In particular, by studying an example of a discourse called "paradox", we aim to be able to use flexible and practical philosophical thinking.</p> <p>ある物事を多くの人に、とくに専門や立場が異なる人々に理解してもらうためには、個々の言葉の関連性を明確に示さなくてはならない。言い換えれば、「論理」が必要なのである。「哲学の目的は思考の論理的明晰化である」(L・ヴィトゲンシュタイン『論理哲学論考』)。本科目では、「科学哲学」や「分析哲学」、「論理学」と呼ばれる分野の哲学の基礎を学ぶ。特に「パラドクス(逆理)」と呼ばれる言説の事例を検討することによって、柔軟かつ実践的な哲学的思考を使いこなせるようになることを目指す。</p>	
	社会	<p>Public Management Theory/公共経営論</p> <p>The role of the public sector in modern society is large, and public sector management bodies are expanding from narrow governments to public enterprises, as well as public-private collaboration frameworks and NPOs. The purpose of this course is to learn basic theory and concepts of public administration, public policy studies, and international relations, and to gain basic understanding of public management governance and stakeholders.</p> <p>現代社会における公共セクターの果たす役割は大きく、公共セクターの経営体は狭義の政府から公企業体、さらに官民協働の枠組みやNPOなど広がりを増している。本科目は公共経営について、行政学、公共政策学並びに国際関係論の基礎的理論及び概念に触れつつ、公共経営のガバナンス並びにステークホルダーに関する基礎的理解を得ることを目的とする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要					
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)					
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考		
リベラル アーツ 科目	発展 科目	アイ デン ティ ティ デザイン	社会		
			Regional Collaboration/ 地域協働論	<p>In this course, students will understand the key concepts surrounding community collaboration, civic participation, third sector and community business. Students also understand regional collaboration policies, especially including the idea of open government. Students grasp the actual situation and trends of regional collaboration in the region through examples.</p> <p>The purpose of this course is to acquire basic knowledge surrounding community collaboration and to give students opinions on participation in the community based on their own interests. This course consists of short lectures, reading assignments, group discussions based on them, and a final report. Students are encouraged to actively participate in this course.</p> <p>本科目では、地域協働を取り巻く重要な概念である市民参加、サードセクター、コミュニティビジネスについて理解する。また、地域協働政策について、特にオープンガバメントの考え方を含めて、理解する。地域における地域協働の実態や傾向について事例を通じて捉える。</p> <p>それにより、地域協働を取り巻く基本的な知識の習得とともに、学生自らが自身の関心に基づき、地域への参加について自分の意見を言えることを目指す。</p>	
			Introduction to Cognitive Science/ 認知科学概論	<p>“Are the mind and body connected? or are they separated?” These classic philosophical and scientific questions called “mind-body question (SHIN SHIN MONDAI)” are now extended to the “mind-brain issue (SHIN NOU MONDAI)” : “Are the mind and the brain connected?”</p> <p>In this course, students learn about various aspects of human communication and higher cognition, focusing on cognitive psychology, which understands the work and behavior of the human mind as an information processing process, based on scientific and philosophical discourses about the brain and mind. This course will provide topics that accompany the development of science and technology related to the brain, and will form the basis for confronting unanswered questions through discussion.</p> <p>「心と体はつながっているのだろうか、それとも別々のものなのだろうか?」。こうした「心身問題」と呼ばれる古典的な哲学上・科学上の問いは、現在では「心と脳はつながっているのだろうか?」という「心脳問題」へと拡張されている。</p> <p>本科目では、脳や心をめぐる科学や哲学の言説をふまえ、人間の心の働きと行動を情報処理プロセスとして理解する認知心理学を中心に人間のコミュニケーションの諸相と高次認知について学ぶ。脳に関する科学技術の発展に伴う話題を提供し、討議することで、解のない問いに向き合うための基礎をつくる。</p>	
自然	Healthcare Services/ ヘルスケアサービス論	<p>Medical care, health, and welfare are important and urgent issues in the aging Japanese society. In the UN SDGs (Sustainable Development Goals), “Good health and well-being” is listed as one of 17 goals. Various services related to medical care, health, and welfare, that is, healthcare services, are not only for hospitals but also for various fields such as nursing care and employment, and are indispensable not only for medical professionals but also for patients and medical consumers.</p> <p>In this course, students will learn the knowledge necessary to achieve the SDGs, such as evidence-based medicine, the structure of the healthcare industry, customers and services, and behavioral changes to health.</p> <p>少子高齢化が進む日本社会において、医療と健康、福祉は重要かつ緊急の課題である。国連のSDGs（持続可能な開発目標）においても、17の目標の1つに「すべての人に健康と福祉を」が掲げられている。医療と健康、福祉をめぐる各種サービス、すなわちヘルスケアサービスは、病院だけではなく、介護や就労といったさまざまな分野にまたがり、医療者だけでなく患者・医療消費者にとっても不可欠なものとなっている。</p> <p>本科目では、そうしたヘルスケアサービスについて、根拠に基づき医療、ヘルスケア産業及び顧客とサービスの構造、健康への行動変容などSDGsの達成に必要な知識を学ぶ。</p>			

授 業 科 目 の 概 要						
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)						
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考			
リ ベ ラ ル ア ー ツ 科 目	発 展 科 目	ビ ジ ネ ス デ ザ イ ン	人	Public Art/ 公共芸術論	<p>Art and its predecessor culture were evaluated and accepted only by a limited number of people in society, and their expression activities were rarely accepted as the foundation of society. Today, however, art is changing its face. For example, art connects to the community and tourism through events such as Setouchi Triennale and The Echigo-Tsumari Art Triennial. Some contemporary art, such as speculative design, bio art, and street art, poses questions about the premise of society. The movement to define art as a place of learning, like the Mori Art Museum, is also spreading. This course considers art as an important component of society, especially as an essential part of the practice of the SGDs, and students learn the basics of art. Students will fundamentally change their perspective on art.</p> <p>アートやその前提条件としての文化は、社会のごく限られた層でのみ評価・受容され、その表現活動が社会を構成する基盤として受け止められることはあまりなかった。しかし、今日では、アートは様相を変えつつある。例えば、瀬戸内国際芸術祭や大地の芸術祭といったイベントを通して、アートはコミュニティに密着しつつ観光にも接続する。スペキュラティブデザインやバイオアート、ストリートアートといった現代アートの一部には、社会の前提に問いを投げかけるものもある。森美術館のように学習の場としてアートを定義する動きも広がっている。</p> <p>本科目では、アートを社会における重要な構成要素ととらえ、とりわけSGDsの実践のために不可欠なものとみなしたうえで、アートの基本を学ぶ。受講生たちはアートに対する視点を根本的に転換することになるだろう。</p>	
				Introduction to Social Psychology/ 社会心理学概論	<p>We live together with other people in societies. When two or more people gather, society emerges. This suggests that social psychology covers a broad range of societies, from family and friends to huge social groups. Likewise this course, class of school can also be a type of societies.</p> <p>Social psychology has investigated various types of mechanisms in different size of societies, or influences caused by societies. Social psychology targets self or other's mind and behavior in both individuals and groups. Consequently, social psychology enables us to study how we affect with each other in our societies. This course aims to help students to acquire basic knowledge and concepts of social psychology and to apply understandings to the real world.</p> <p>人は社会の中で他者とともに生きている。人間が2人以上寄り集まると、そこに「社会」ができる。社会心理学が対象とする「社会」は、家族や友人からより大きな社会集団まで幅広い。学校の教室も社会心理学が対象とする「社会」の一つである。</p> <p>社会心理学は、大小様々な「社会」に内在するメカニズム、および私たちが「社会」から受けている影響を明らかにすることを目標としている。社会の中における自己および他者の心理や行動、あるいは集団としての心理などが対象となる。社会心理学を学ぶことは、私たちが社会の中でお互いどう影響を与えあっているかを学ぶことであるとも言えるだろう。</p> <p>本授業では、受講生が社会心理学の基本的な知識・概念を習得するとともに、授業後半において、現実における具体的な文脈として、実際の組織における人間行動にかかわるトピックスをとりあげ、理解することで、社会への応用を考える。</p> <p>(Omnibus style / 14 classes) (オムニバス方式/全14回)</p> <p>(10 Yoko URYUHARA / 8 classes) URYUHARA will give a short lecture on human behavior in an actual organization, promote group work, etc., and evaluate assignments in introduction in session 1 and summary in session 14, and topics such as motivation, individual decision-making in organizations and teams, collective action, and leadership.</p> <p>(10 瓜生原葉子 / 8回) 第1回のイントロダクションおよび第14回のまとめに加え、動機付け、組織・チームにおける個人の意思決定、集団行動、リーダーシップといったトピックを通じて、実際の組織における人間行動についてショートレクチャーを行い、グループワークなどを促進し、課題の評価を行う。</p> <p>(22 Yuji TSUBOTA / 6 classes) TSUBOTA gives short lectures, promotes group work, and evaluates assignments on basic concepts in social psychology such as self and interpersonal perception, emotions, decision making, obedience, authority, and coordination pressure.</p> <p>(22 坪田雄二 / 6回) 自己や対人認知、感情、意思決定、服従、権威、同調圧力など、社会心理学における基本的な概念についてショートレクチャーを行い、グループワークなどを促進し、課題の評価を行う。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
リベラル アーツ 科目	発展 科目	ビジネス デザイン	社会	<p>Management Strategy and Organization Theory/ 経営戦略・組織論</p> <p>Social issues have become more diverse and complex, while institutional boundaries have been crossed. Along with this, there is a growing need for nonprofit organizations (NPOs) and companies to play an important role. Non-profit organizations build an autonomous system that goes beyond volunteerism by adopting business methods, while companies are required to create social values and to collaborate with the business and social sectors.</p> <p>In this course, students will learn the basic theories of organizational management activities such as "formulating a strategy", "building an organization", and "motivating people". In addition, students will learn strategic management techniques to connect social issues and business. By applying this knowledge, Students will propose a strategy to non-profit organizations to become more sustainable by writing a consulting report.</p> <p>社会課題が多様化、複雑化し、制度的な境界線を越えるようになり、非営利組織、企業もその役割を担う必要性が高まっている。非営利組織には、ビジネス手法を取り入れてボランティアに留まらない自立的なしくみ作りが求められ、企業には、社会的価値を創造すること、さらには、ビジネスセクターとソーシャルセクターの共創が求められている。</p> <p>本科目では、「戦略をたてる」「組織をつくる」「人を動かす」という組織のマネジメント活動の基礎理論と、社会性と事業性を結び付けるための戦略マネジメントを学び、それを応用し、非営利組織に対して、より持続可能な組織となる戦略を提言することを目指す。</p>
				<p>Marketing Theory/ マーケティング論</p> <p>As the market matures, customer needs to diversify and personalize, technologies mature, and competition continues to become more global, marketing is developing and expanding from "product strategy" to "business strategy" and further to "corporate strategy". Furthermore, it is very important that the marketing concept is applied to the achievement of the SDGs (Sustainable Development Goals), which is the goal to be achieved by 2030.</p> <p>In this lecture, students will learn basic theories and issues related to marketing and technical terms, and acquire the ability to use them in any organization. Students will also learn social marketing that encourages transformation into "desirable behavior for society", recognize various issues facing today's business field, and aim to be able to draw concrete applications to the real world.</p> <p>市場の成熟化、ニーズの多様化や個性化、技術の成熟化、競争のグローバル化が進むなか、マーケティングはいまや、製品戦略から事業戦略へ、さらに企業戦略へと発展・拡大している。さらに、2030年までに達成したい目標であるSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の達成にも、マーケティングコンセプトの適用が重要である。</p> <p>本講義では、マーケティングについての基本的な理論及び論点と専門用語を習得し、あらゆる組織で活用する力を身につける。さらに、「社会にとって望ましい行動」へと変容を促すソーシャルマーケティングを学び、今日のビジネス分野が直面している様々な課題を認識し、実社会への応用が具体的に描けることを目指す。</p>
				<p>Finance/ ファイナンス論</p> <p>In this course, students will acquire basic knowledge of finance, deepen their understanding of various financial business categories, and understand the role finance plays in the Japanese economy and the world economy.</p> <p>Through the study of this course, the aim is to develop financial knowledge to survive wisely as a member of society.</p> <p>本科目では、金融に関する基本的知識を習得し、金融に携わる様々な業態への理解を深め、金融が日本経済及び世界経済の中で担っている役割を正しく理解する。</p> <p>この科目の学びを通じて、社会人としてよりよく生き抜くための金融知識を培うことをねらいとしている。</p>

授 業 科 目 の 概 要				
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
リベラル アーツ 科目	発展 科目	ビジネス デザイン	<p>Social innovation is a diffusion process of a new solution to a social issue which has not been resolved by existing services or activities from only one sector like government, private corporations, or nonprofits. In the diffusion process of social innovation, a diverse range of change agents work collectively toward one common vision, and these change agents are called "social entrepreneurs". In this course, students will learn various approach to social issues through case studies on social entrepreneurs and group works to cultivate a sense of social entrepreneurship. Through this course, students would be able to enhance abilities to discover problems, empathize to the problem, envision a "want-to-be" future and get things done.</p> <p>社会イノベーションとは、政府、企業、NPOなど、従来の単一セクターによる取り組みでは解決することが難しい社会的課題に対して、多様な事業主体が連携して、革新的・独創的なアイデアに基づく新たなソリューションを普及させることで、社会システムや価値観を変える変化を生み出すことである。社会イノベーション事例において中心的な役割を果たす活動家を社会起業家というが、その活動形態や事業モデルは、解決しようとする社会的課題やその事業分野によってきわめて多岐にわたる。本講義では、事例研究とグループワークを通じて社会イノベーションと社会起業家について理解を深め、身近な社会問題に気づける課題発見力、自分事として問題をとらえる共感力、より望ましい未来を見ずして課題解決を考える構想力、そして計画を行動に結びつけることができる実践力を習得することを目標とする。</p>	
			<p>We cannot properly understand modern socio-economic behavior without grasping the situation where highly developed technologies in the information society and markets such as marketing, finance and IT business are fused. In this course, students first learn based on the concepts of social and economic systems. Students will be divided into several teams based on social innovation cases, understand how modern society is changing through active learning.</p> <p>現代の社会経済行動は、情報化社会の中で高度に発達したテクノロジーとマーケティング、ファイナンス並びにITビジネスなどの諸市場との融合状況の把握なしには適切に理解できない。本科目では、社会システム及び経済システムの概念を履修者が基礎として学んだ上で、特徴的な社会イノベーション事例をもとに、履修者はいくつかのチームに分かれ、アクティブ・ラーニングにより、モノのインターネット(IoT)、人工知能(AI)、ビッグデータ、ファイナンス・テクノロジー(Fintech)などのテクノロジーが社会技術システムとしてどのように現代社会を変容させていきつつあるのかを理解する。</p>	
			<p>In this course, we will take a historical look at industrial sophistication and industrial structure transformation, and examine industries and business models for a resource recycling society. Based on the situation of the Fourth Industrial Revolution and changes in business models, form your own thoughts on the future of Japanese industry in the future.</p> <p>本科目では、産業の高度化や産業構造転換について歴史的にとらえ、資源循環型社会に向けた産業やビジネスモデルについて検討する。第四次産業革命の状況やビジネスモデルの変化をふまえて、今後の日本のあるべき産業の行方について、自分自身の考えを形成する。</p>	
			<p>In response to the deterioration of the global environment caused by global warming and environmental destruction, from 2030 onward the likelihood of a food crisis might occur; consequently, the introduction of biotechnology is essential. This course focuses on biotechnology concepts and technologies, especially in the agricultural sector, such as GM0, in order to build a sustainable society. In addition, biotechnology in the medical field such as antibodies, vaccines and gene therapy will be introduced. And we follow the historical development of modern biotechnology, debate the ethics of biotechnology.</p> <p>地球温暖化や環境破壊による地球環境の悪化に伴い、2030年ごろには食糧危機に直面すると言われている。この危機回避のためには、バイオテクノロジーの導入は必須である。本科目では、持続可能な社会を構築するために、特に遺伝子組み換えなどの農業分野におけるバイオテクノロジーの考え方や技術について詳述する。さらに抗体・ワクチン、遺伝子治療といった医療分野のバイオテクノロジーも紹介する。さらに現代バイオテクノロジーの歴史的発展を追い、バイオテクノロジーの倫理を討論する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要					
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)					
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考		
リベラルアーツ科目	発展科目	ビジネスデザイン	自然	<p>“Science (KAGAKU)” and “technology (GIJUTSU)” are conceptually different. However, with the rise of the chemical industry and other industries in the second half of the 19th century, government and companies have come to use them for military and industrial purposes by applying the principles found in science to technology. For example, all of nuclear power generation, biotechnology, and ICT (information and communication technology) are regarded as “science and technology (KAGAKU GIJUTSU)” developed in the process. In this course, students will acquire the literacy skills essential for people today through learning the history of science and technology (especially “contemporary science and technology (GENDAI KAGAKU GIJUTSU)” after World War II).</p> <p>「科学 (KAGAKU)」と「技術 (GIJUTSU)」は、概念的には別のものである。しかし19世紀後半の化学工業の隆盛などを発端として、現在では、科学で見出された原理を技術に応用することによって、政府や企業が軍事上・産業上の目的でそれらを活用するようになっていく。原子力も生命工学 (バイオテクノロジー) もICT (情報コミュニケーション技術) も、その過程で生まれた「科学技術 (KAGAKU GIJUTSU)」とみなされている。本科目では、科学技術 (特に第二次大戦後の「現代科学技術 (GENDAI KAGAKU GIJUTSU)」) の歴史を学ぶことを通じて、現代人に不可欠なリテラシーを身につける。</p>	
		人	Introduction to Cultural Anthropology/ 文化人類学概論	<p>Cultural anthropology has explored various ways of being human by comparing different cultures and natures. This course introduces the project of anthropology, focusing on various levels of practical “politics”. Moreover, students will experiment with anthropological ways of thinking and relativize what is considered “natural” through various case studies. The topics include belief, science, violence, gender, body, and materiality.</p> <p>文化人類学は、異なる文化と自然を比較することにより、人間のあり方のさまざまなかたちを探求してきた。本科目では、さまざまなレベルでの実践的な「ポリティクス (政治)」に焦点を当てた文化人類学のプロジェクトを紹介する。また受講生は人類学的な考え方を試行し、さまざまなケーススタディを通じて、「自然」と見なされるものを相対化することになるだろう。トピックとしては、信念や科学、暴力、ジェンダー、マテリアリティ (物質性) などを扱う。</p>	
		エコシステムデザイン	Fieldwork Studies/ フィールドワーク研究	<p>In any job, gathering information, or “research” skills, is essential. In this course, students will learn the basics of “field work” as a research method that can be used in both academic and business fields. The goal is to enable students to study, analyze and document real-world cases by using the research methods including interviews, participant observation, document analysis, etc. Students will be able to acquire useful information gathering skills and broad perspectives for even after graduation by learning various research methods.</p> <p>どんな仕事においても、情報を集めること、すなわち「調査」のスキルは不可欠である。本科目では、学問でもビジネスでも通用する調査方法としての「フィールドワーク」の基礎を学ぶ。受講者が本科目で習った調査方法 (インタビュー、参与観察、ドキュメント分析など) を応用して、現実世界の事例を調査し、分析し、文章化できるようになることを目標とする。受講者は、各種調査方法をマスターすることで、社会に出てからも通用する情報収集力と、その結果としての広い視野を得られるであろう。</p>	
社会	Environmental Economics/ 環境経済学	<p>In this course, students will learn the basics of a system to analyze the mechanisms by which environmental problems occur and how to deal with them from an economics perspective. The students will be able to understand the concept of public goods and understand that public goods whose environmental value cannot be evaluated in the market are the causes of environmental problems. They will be able to understand the characteristics of policy measures, such as environmental taxes, emissions trading, gross emissions regulations and voluntary agreement as a means of solving environmental problems. As a specific case study, waste disposal and recycling policy will be introduced to them.</p> <p>本科目では、環境問題がどのようなメカニズムで発生し、如何に対策するかを経済学の視点から分析する体系の基礎を学ぶ。公共財の概念を理解し、環境の価値が市場で評価できない公共財であることが環境問題の原因である事を理解する。環境問題解決の手段として環境税、排出量取引、総量規制、自主協定などの政策手段の特徴を理解する。具体的な事例としては廃棄物処理・リサイクル政策を取り上げる。</p>			

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
リベラル アーツ 科目 発展科目 エコシステム デザイン	社会	Regional Revitalization/ 地域活性化論	<p>In this course, students will get an overview of regional industry and regional policies, which are important themes for regional revitalization. Students will understand the changes in local business against the background of digital trends in recent years through examples. Students understand innovation and new business creation based on local characteristics.</p> <p>The purpose of this course is to acquire basic knowledge surrounding the local industry and to give students opinions on local business based on their own interests.</p> <p>This course consists of short lectures, reading assignments, group discussions based on them, and a final report. Students are encouraged to actively participate in this course.</p> <p>本科目では、地域活性化の重要なテーマである地域産業とそれを取り巻く地域産業政策について、その概要を捉える。また、近年のデジタルの流れを背景とした地域ビジネスの変化について、事例等を通じて理解を深める。地域の特性に基づくイノベーションや新事業の創造について理解する。それにより、地域産業を取り巻く基本的な知識の習得とともに、学生自らが自身の関心に基づき、地域ビジネスについて自分の意見を言えることを目指す。</p>
		Development Economics/開発経済学	<p>The goal of this course is to develop the understandings of concepts of development economics through some real-life developing country's policy case studies and empirical research findings. With the knowledge of the meaning of "development" in the context of global targets, SDGs, students will be exposed to some classical economy theories and acquaint the ability to critically view the major development problems: poverty, disparity, population growth, rural stagnation, and environmental issues from both economic and non-economic factors. Real-life failures and success of policy case studies will be conducted in class for group discussions to develop the problem conscious and solving skills of students.</p> <p>本科目では、開発経済学の概念の理解を深めることを目的として、現実の途上国政策の事例と実証研究を用いて講義を行う。グローバル目標として国際社会が取り組んでいる「持続可能な開発目標」(SDGs)に提唱された「開発」の意味を理解した上に、古典的な経済理論に触れ、貧困、格差、人口増加、農村発展の停滞、環境問題などの開発問題を経済的要因と非経済的要因から批判的に捉える力を身につける。また、実際に成功や失敗した政策をケースメソッドで授業を行い、グループ・ディスカッションを通じて、学生たちの問題意識と問題解決能力を育成する。</p>
		Natural Disaster/ 自然災害論	<p>Natural disasters can be broadly classified into natural disasters and man-made disasters, and this lecture will introduce an overview of the mechanisms that cause natural disasters. Since Japan is one of the countries in the world, which are frequently hit by horrible natural disasters. Understanding the causes of the disasters and the aspects of the damages will be effective to save life and to promote general awareness of the prevention and mitigation of disasters. Particularly, the Cabinet Office has changed its policy to "Save your life by yourself", and it is thus important to study about the past disasters and hazard maps. In addition, major disasters in Hiroshima Prefecture, Hiroshima City, and the Chugoku District will be presented. In the last two lectures, we will discuss in groups how to provide useful information to save the lives of as many people as possible and how to appropriately distribute relief materials and supply temporary housing as a crisis response in a major disaster. In Japan, where natural disasters can occur anywhere, it is important to have the ability to survive a disaster; therefore, it is advisable to attend this lecture in case disaster happens to you.</p> <p>災害は自然災害と人為的災害に大別されるが、本科目では自然災害について、その原因となる現象や災害の概要を紹介する。日本は世界有数の自然災害の発生地域である。自然災害を発生させる要因や災害による被害を学ぶことは、防災や減災への取り組みや自分自身の命を守ることに有効である。特に最近、内閣府が「自分の命は自分で守る」という方針に変更したこともあり、過去の災害やハザードマップなどを学ぶことは重要である。広島県や中国地方における過去の災害についても紹介する。講義の最後では、多くの人の命を救うための有効な情報、及び大災害時における危機対応としての支援助物質や仮住居の適切な配分方法についてグループで議論する。</p> <p>どの地域でも自然災害が発生する可能性がある日本では、災害を乗り越える力を身につけることが大切であるので、災害が自分の身に起こりうると考えて積極的にこの講義を受講することが望まれる。</p>

授 業 科 目 の 概 要				
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
リベラル アーツ 科目	発展 科目	エコ シス テム デ ザ イ ン 自然	<p>Urban Environment/ 都市環境論</p> <p>Firstly, this course introduces the indoor air and thermal environments and energy situation as a minimum unit. Secondly, the course examines the transitions and current status of air, water, and soil pollutions, malodor problems, and noise problems in an urban scale. Thirdly, the course helps students acquire knowledge about urban metabolism, such as water supply, sewerage and waste disposal. This course aims to help students acquire an understanding of urban environmental issues comprehensively by expanding their viewpoint from indoor environment as a minimum unit to urban environment.</p> <p>最小単位の室内空気と熱環境およびエネルギー事情から始めて、都市単位での大気・水質・土壌汚染・悪臭・騒音環境の推移と現状について学ぶ。その後、都市の代謝である上水道・下水道・廃棄物処理について知識を修得する。</p> <p>本科目では、最小単位の室内環境から都市環境へ視点を広げることで、俯瞰的に都市環境の問題点を把握する。</p>	
			<p>Environmental Engineering/ 環境工学</p> <p>This course introduces the pollution spreading due to the diffusion of contaminants for water and air environments from general and large-scale concepts. Calculating exercise is included to experience quantitative evaluation of environmental engineering. Similar lectures and exercise are provided about soil pollutions, and noise and vibration problems.</p> <p>This course aims to help students acquire an understanding the pollution spreading in air, water, soil, and propagations of noise and vibration, which are the basic principles of the environmental pollution. Engineering (environmental engineering) is the technique to approach these principles.</p> <p>大気と水質について、汚濁の拡散による汚染の広がりとその対応防止技術を、一般と大規模の概念において講義する。環境工学における定量的評価を経験するため、計算演習もおこなう。本科目は、環境汚染の基本原理である、大気・水質・土壌汚染にかかわる汚染の広がり、騒音・振動にかかわる伝搬とはについて理解することを目的とする。</p>	
			<p>Biodiversity/ 生物多様性論</p> <p>In the long history of 4.6 billion years, it is estimated that around 9 million species are living on the earth. All of them have some direct or indirect relationships. Due to evolution and environmental conditions, the cycle of extinction and creation is an extremely delicate balance. Humans are destroying this balance and mass extinction might occur.</p> <p>In this course, lectures will be given on the definition of species such as morphological features, phylogenetic trees, and genes, and students will understand species diversity and gene diversity. In addition, we will use examples to discuss climate change, sustainability, and food biodiversity.</p> <p>46億年という長い歴史の中で、地球には約900万種の生き物が生存してきた。これらの生命は全て何らかの直接的・間接的関係を持つ。そこには微妙なサイクルがあり、様々な環境に適応して絶滅と進化のバランスを確保している。</p> <p>この微妙なサイクルは人間の影響下で急速に破壊されるため大量絶滅の危機の可能性が大きくなる。</p> <p>本科目では、形態的特徴・系統樹・遺伝子などの種の定義について講義し、種の多様性や遺伝子の多様性について理解する。さらに事例を用いて気候変動・サステナビリティ・食物の生物多様性について議論する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
リベラルアーツ科目 発展科目 エコシステムデザイン 自然	Global Environment/ 地球環境論	<p>The global environmental problems are originated from the fact that the human activities since Industrial Revolution become to exert large disturbances to other subsystems such as the atmosphere, the ocean, the geosphere, and biosphere. Such disturbances have in turn affect the ecosystem of Earth. Most of these feedbacks have negative effects, creating the global environmental problems. Thus, the balance between the human activities and the other subsystems should be established as soon as possible in order to sustain the development of the human society without disturbing significantly the other subsystems.</p> <p>Although many academic fields are involved in the global environmental issues, it is necessary to deepen the understanding of the subsystems. In this lecture, basics of the subsystems will be learned first, then various environmental issues are explained. Finally, measures or ideas to the problems will be discussed in a group and in the whole class.</p> <p>地球環境問題は地球を構成する気圏や水圏、地圏、生物圏などのサブシステムの中で、産業革命以降に活発になった人間活動が他のサブシステムに大きな影響を及ぼすようになったことに起因している。人間活動による大きな擾乱は、逆に生物圏にフィードバックされるようになった。このフィードバックの多くは、人間を含めた生物圏に悪影響を及ぼすものであり、その結果として地球環境問題が生じている。文明的な人間活動の発展が持続していくためには、他のサブシステムとの調和の確立が喫緊の課題として問われている。地球環境問題は学際的であるとはいえ、地球環境の理解を深めることが必要である。本科目では、地球環境を構成するサブシステム（地象、気象、水象、生態系）の基礎的知識を習得後、現在地球規模で生じているさまざまな地球環境問題を学ぶ。その後で、地球環境問題を解決していく提案やビジョンをグループで討論し、その結果を全体で議論する。</p>	
	Ecology/生態学	<p>Ecology is the study of the interrelationship between living organisms and their related environments. Animals, plants, and microorganisms are included. In this course, lectures will be given on the genetic ecology of organisms and population genetics and evolution. In addition, we will deepen understanding through discussions about the environment that affects the habitat of organisms, the relationship between humans and animals, plants, microorganisms, and the relationship between environmental conditions and biological conditions. In addition, there are a huge number of microorganisms in the environment, which have various effects on the maintenance of the lithosphere, hydrosphere, biosphere and atmosphere. Students will discuss that too.</p> <p>生態学は生物とそれに関係する環境との相互関係に関する学問である。生物には動物、植物、微生物が含まれる。本科目では、生物の遺伝生態及び集団遺伝学と進化について講義する。また、生物の生息に影響を及ぼす環境、人間と動物、植物、微生物の相互関係、環境条件と生物的条件との関連について、討論を通じ理解を深める。さらに環境には、膨大な数の微生物が存在し、岩石圏・水圏・生物圏・気圏の維持に様々な影響を及ぼしているが、それについて説明する。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
実践 科目	SDGs, the world and us/ 持続可能な世界と私たち～SDGsの達成に向けて～	<p>This course is an interactive class and a participatory class. Students will understand the current state of global social issues in the 4th year as a summary of all learning up to the 3rd year. And students will form a team with other students, they will show the ability to make problem-solving proposals as well as its skills as a total review. To be specific, this course invites 5 experts of SDGs such as Peace, Partnership, People, Prosperity, and Planet as visiting lecturers. Their presentations and interactive classes will be held. Students will be divided into groups and identify social issues on the 5Ps theme selected for each group through active learning methods. Students use the problem-solving techniques they have learned so far to propose solutions to those social issues.</p> <p>本科目は、3年次までのすべての学びの総まとめとして、履修者が4年次にグローバルな社会課題の現状について理解し、他の履修者とチームを形成して課題解決の提案を行うことができる能力を、そのスキルとともに総復習として示す対話型並びに参加型講義である。具体的にはまず、SDGsの5Pである平和(peace)、共創(partnership)、人々(people)、繁栄(prosperity)並びに地球(planet)のそれぞれについて、各問題に精通した専門家を外部講師として招き、履修者へのプレゼン並びに対話型授業を行う。さらに履修者は班に分かれ、班ごとに選択した5Psのテーマについて社会課題をアクティブ・ラーニングの手法により特定し、それまでに学んだ課題解決の技法を使ってその社会課題に対するソリューションを提案する。</p> <p>(Omnibus style, 14 classes) (オムニバス方式・全14回)</p> <p>(6 Toshiyuki YASUI / 10 classes) YASUI oversees the whole. YASUI conducts short lectures, presents assignments, promotes group work, and evaluates assignments, class participation, and reports. (6 保井俊之/10回) 全体を統括。ショートレクチャーを行い、課題を提示し、グループワークなどを促進する。課題や授業への参加、レポートなどを評価する。</p> <p>(6 Toshiyuki YASUI, 1 Mutsuhiro ARINOBU / 4 classes) (joint) In the "Guidance" and "Solution Proposal Presentation" sessions, YASUI and ARINOBU give short lectures or comments on the presentation. (6 保井俊之・1 有信睦弘/4回) (共同) 「ガイダンス」および「ソリューション提案のプレゼンテーション」の回において、ショートレクチャーを行ったり、プレゼンテーションについて講評を行ったりする。</p>	オムニバス方式・ 共同 (一部)

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
体 験 ・ 実 践 プ ロ グ ラ ム	国 内 プ ロ グ ラ ム	<p>During this course, students prepare themselves, participate, and review learning experiences from participating in a domestic volunteer program. Through this experience, students are expected to acquire three skills and capabilities, namely: 1) The capability to accomplish the duty overcoming difficulties; 2) The capacity to think and act voluntarily; and 3) The capability to get involved in problem-solving in order to achieve the organization's goals.</p> <p>One of key objectives of this course is that students have real-life experiences of overcoming challenges with determination to achieve personal and organizational goals. Many non-profit organizations that receive student volunteers are often struggling to solve certain social issues, and students shall understand them deeply to work together for solving these issues. Students will realize how small contribution they may be able to make presently in the society, yet it shall become opportunities for them to reflect what they would want to do and how.</p> <p>この科目では、困難に直面しても粘り強く最後までやり抜く力、主体的に物事に取り組む力、ボランティア先が取り組む社会課題の解決に向け積極的に挑戦する力を獲得することを目的に、国内ボランティアに取り組んでもらう。学外での活動は自分の思い通りにならないことも多く、困難に直面することもある。また、それに挫けることなく乗り越える力を身につけてもらう。また、ボランティア先はある社会課題が存在する領域で活動をしていることが多く、ボランティア先と一緒に活動することで、その社会課題を把握し解決に向けて挑戦してもらうことを期待する。受講時点の学生の能力によっては貢献できることも限られているであろう。そういった経験を通じて自分に何ができるのか、逆に何ができないのかを理解することも大きな学びとなる。</p>	
		<p>During this course, students prepare themselves, participate, and review learning experiences from internship program with a private company, a non-profit organization (NPO) or a municipality office. Through this experience, students are expected to acquire three skills and capabilities, namely: 1) The capacity to work with positive attitude; 2) Skills and capability to contribute to the organization's value creations; and 3) The capability to complete tasks and missions as a professional. Internship is not just a provision of labor; it is rather an opportunity for students to strengthen their skills that may be useful for day-to-day work. Students should identify the skills and proficiencies they want to strengthen during the preparation orientation, for the best use of internship opportunities. Students will also be able to turn knowledge accumulated through coursework thus far into works in the real world. Such an experience will give more meanings to study further, as well as to help students identifying untapped opportunities for them to learn back in the campus.</p> <p>この科目では、積極的に仕事に取り組む力、組織の価値創造に主体的に関わる力、また組織から提示された仕事をプロフェッショナルとして最後までやり抜く力を獲得することを目的に、企業や地方公共団体、NPOなどの組織で国内インターンシップに取り組んでもらう。インターンシップは組織に対する労働力の提供と異なり、参加する学生のスキルアップが重要になる。インターンシップに参加する前に自分で成長させたいスキルを定め、インターンシップを通じてその能力を獲得、成長させていくことを目標とする。学生とはいえ仕事の現場では甘えは許されず、プロフェッショナルに動くチームの一員として働くことが求められる。その経験を通してスキルアップを実現する。また、自分が大学で学んできたことを組織に対してどう活かすかを考え仕事の現場で実践する。それにより大学で学んできたことを仕事の現場で活かす方法を知ることができる。逆に学ぶべき点が明らかになることもあるだろう。それを大学に戻って学ぶきっかけとする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要			
(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
体験・実践プログラム	国内プログラム Domestic Internship Program B/ 国内インターンシップB	<p>During this course, students prepare themselves, participate, and review learning experiences from internship program with a private company, a non-profit organization (NPO) or a municipality office. Through this experience, students are expected to acquire three skills and capabilities, namely: 1) The capacity to work with positive attitude; 2) Skills and capability to contribute to the organization's value creations; and 3) The capability to complete tasks and missions as a professional. Internship is not just a provision of labor; it is rather an opportunity for students to strengthen their skills that may be useful for day-to-day work. Students should identify the skills and proficiencies they want to strengthen during the preparation orientation, for the best use of internship opportunities. Students will also be able to turn knowledge accumulated through coursework thus far into works in the real world. Such an experience will give more meanings to study further, as well as to help students identifying untapped opportunities for them to learn back in the campus. In addition to those listed above, students shall learn the process of handing over duties from the predecessor and to the successor, that will contribute to deepen their understanding of the works they were assigned to.</p> <p>この科目では、積極的に仕事に取り組む力、組織の価値創造に主体的に関わる力、また組織から提示された仕事をプロフェッショナルとして最後までやり抜く力を獲得することを目的に、企業や地方公共団体、NPOなどの組織で国内インターンシップに取り組んでもらう。インターンシップは組織に対する労働力の提供と異なり、参加する学生のスキルアップが重要になる。インターンシップに参加する前に自分で成長させたいスキルを定め、インターンシップを通じてその能力を獲得、成長させていくことを目標とする。学生とはいえ仕事の現場では甘えは許されず、プロフェッショナルに動くチームの一員として働くことが求められる。その経験を通してスキルアップを実現する。また、自分が大学で学んできたことを組織に対してどう活かすかを考え仕事の現場で実践する。それにより大学で学んできたことを仕事の現場で活かす方法を知ることができる。逆に学ぶべき点が明らかになることもあるだろう。それを大学に戻って学びきっかけとする。</p> <p>この科目は上記のことに加え、他者から仕事を引き継ぐ、他者へ仕事を引き継ぐといった実際の仕事の現場と同様の経験をするすることで、仕事に対する理解をより深めることも目標とする。</p>	
	海外プログラム Volunteer Abroad Program/ 海外ボランティア	<p>During this course, students prepare themselves, participate, and review learning experiences from participating in a volunteer program abroad. Through this experience, students are expected to acquire three skills and capabilities, namely: 1) The capability to accomplish the duty overcoming difficulties; 2) The capacity to think and act voluntarily; and 3) The capability to get involved in problem-solving in order to achieve the organization's goals. In addition to strengthening core competencies, students will learn to observe and to respect diversities through international volunteer experiences, by sorting disagreement based on miscommunication, cultural differences, and/or religion. It is also one of objectives of this course that students have real-life experiences of overcoming challenges with determination to achieve personal and organizational goals. Many non-profit organizations that receive student volunteers are often struggling to solve certain social issues, and students shall understand them deeply to work together for solving these issues. Students will realize how small contribution they may be able to make presently in the world, yet it shall become opportunities for them to reflect what they would want to do and how.</p> <p>この科目では、困難に直面しても粘り強く最後までやり抜く力、主体的に物事に取り組む力、ボランティア先が取り組む社会課題の解決に向け積極的に挑戦する力を獲得することを目的に、海外ボランティアに取り組んでもらう。また、海外でのボランティア活動では文化や宗教観の違いから国内では経験しないような衝突や摩擦も生じることもあるが、その経験を通して多様性を尊重できる力を身につけることも目的とする。また、海外での活動を通じて、外国語能力の向上も期待できる。</p> <p>学外での活動、特に海外での活動は自分の思い通りにならないことも多く、困難に直面することもある。また、それに挫けることなく乗り越える力を身につけてもらおう。また、ボランティア先はある社会課題が存在する領域で活動をしていることが多く、ボランティア先と一緒に活動することで、その社会課題を把握し解決に向けて挑戦してもらおうことを期待する。受講時点の学生の能力によっては貢献できることも限られているであろう。そういった経験を通じて自分に何ができるのか、逆に何ができないのかを理解することも大きな学びとなる。</p>	

授 業 科 目 の 概 要				
(ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科)				
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考	
体験・実践 プログラム	海外 プログラム	Internship Abroad Program/ 海外インターンシップ	<p>During this course, students prepare themselves, participate, and review learning experiences from internship program with a private company or NPO abroad. Through this experience, students are expected to acquire three skills and capabilities, namely: 1) The capacity to work with positive attitude; 2) Skills and capability to contribute to the organization' s value creations; and 3) The capability to complete tasks as a professional. Undertaking the internship abroad shall also be opportunities to improve communication skills and English proficiency. Internship is not just a provision of labor; it is rather an opportunity for students to strengthen their skills that may be useful for day-to-day work. Students should identify the skills and proficiencies they want to strengthen during the preparation orientation, for the best use of internship opportunities. Students will also be able to turn knowledge accumulated through coursework thus far into works in the real world. Such an experience will give more meanings to study further, as well as to help students identifying untapped opportunities for them to learn back in the campus.</p> <p>この科目では、積極的に仕事に取り組む力、組織の価値創造に主体的に関わる力、また組織から提示された仕事をプロフェッショナルとして最後までやり抜く力を獲得することを目的に、企業やNPOなどの組織で海外インターンシップに取り組んでもらう。インターンシップは組織に対する労働力の提供と異なり、参加する学生のスキルアップが重要になる。インターンシップに参加する前に自分で成長させたいスキルを定め、インターンシップを通じてその能力を獲得、成長させていくことを目標とする。また、海外での活動を通じて、外国語能力の向上も期待できる。学生とはいえ仕事の現場では甘えは許されず、プロフェッショナルに動くチームの一員として働くことが求められる。その経験を通してスキルアップを実現する。また、自分が大学で学んできたことを組織に対してどう活かすかを考え仕事の現場で実践する。それにより大学で学んできたことを仕事の現場で活かす方法を知ることができる。逆に学ぶべき点が明らかになることもあるだろう。それを大学に戻って学ぶきっかけとする。</p>	
		Short-Term Study Abroad Program/ 海外短期プログラム	<p>During this lecture, students join a short-term study abroad program, that shall acquire/strengthen skills and competencies via: (1) improving communication skills through meeting diverse groups of people; and (2) observing and to respect diversities through overcoming disagreement based on miscommunication, cultural differences, and/or religion. It is also expected that students improve English communication skills. Students can select a short-course program from different fields, based on the area of their interests and potential to complement the courses they are studying at Eikei University. Additionally, the study-abroad program shall be opportunities for students to expand their academic horizon, through touching upon different schools of thoughts and meeting peers from different countries.</p> <p>この科目では、日本国内には出会えない可能性の低い国々の人たちとの交流を通じてコミュニケーション力を高め、文化や宗教観の違いから生じる衝突や摩擦を乗り越え、多様性を尊重できる力を身につけることを目的に、海外短期プログラムに参加してもらう。海外での活動を通じて、外国語能力の向上も期待できる。参加可能な海外短期プログラムの分野は多岐にわたるが、自らの興味に従い学習分野・内容を選んで、学ぶことを期待する。大学での学びを深化、分野拡大することによって、新しい分野に挑戦する気持ちを育む。また、海外短期プログラムで訪問する先は世界に広がり、訪問先の情報を学生同士が共有することで世界に対する理解を深めることも目的とする。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
日 本 語	Japanese I / 日本語 I	日本語初学者である外国人留学生（母語が日本語以外の学生）のためのクラスである。このクラスはCEFR A1に対応し、次の学習をする。 (1) 文字（ひらがな・カタカナ・ごく基本的な漢字）の知識を持つ。 (2) 基本的な日本語文法の規則、語彙を知り、運用できるようになる。 (3) ごく簡単な構造の日本語の文を作成できるようになる。	
	Japanese II / 日本語 II	日本語初学者である外国人留学生（母語が日本語以外の学生）のためのクラスである。このクラスはCEFR A1に対応し、次の学習をする。 (1) 文字（ひらがな・カタカナ・ごく基本的な漢字）の読み書きができるようになる。 (2) 基本的な日本語文法の規則、語彙を用いて、口頭でのやりとり（話すこと、聞くこと）ができる。 (3) ごく基本的な定型表現、言い回しを理解し、用いることで日常生活の基本的なニーズを日本語で最低限満たすことができる。	
	Japanese III / 日本語 III	日本語初学者である外国人留学生（母語が日本語以外の学生）のためのクラスである。このクラスはCEFR A1に対応し、次の学習をする。 (1) 文字（ひらがな・カタカナ・ごく基本的な漢字）の読み書きがスムーズにできるようになる。 (2) 基本的な日本語文法の規則、語彙を用いて、文書の読み取りができ、ごく身近な話題についての作文ができる。 (3) ごく基本的な定型表現、言い回しを理解し、用いることで日常生活の基本的なニーズを日本語で最低限満たすことができる。	
	Japanese IV / 日本語 IV	日本語初級前半である外国人留学生（母語が日本語以外の学生）のためのクラスである。このクラスは、日本語1、日本語2、日本語3を事前に受講していることを受講の前提とする。このクラスはCEFR A1に対応し、次の学習をする。 (1) 文字（基本的な漢字）の知識を持つ。 (2) 基本的な日本語文法の規則、語彙を知り、複数の活用形、文型を用いて、基本的な運用ができるようになる。	
	Japanese V / 日本語 V	日本語初級前半である外国人留学生（母語が日本語以外の学生）のためのクラスである。このクラスは、日本語1、日本語2、日本語3を事前に受講していることを受講の前提とする。このクラスはCEFR A1に対応し、次の学習をする。 (1) 文字（基本的な漢字）を用いることができるようになる。 (2) 基本的な日本語文法の規則、語彙を用いて、口頭でのやりとり（話すこと、聞くこと）、情報収集（聞くこと）ができる。 (3) 単文レベルの日本語文の産出ができるようになる。場合によっては、複文を用いることができる。	
	Japanese VI / 日本語 VI	日本語初級前半である外国人留学生（母語が日本語以外の学生）のためのクラスである。このクラスは、日本語1、日本語2、日本語3を事前に受講していることを受講の前提とする。このクラスはCEFR A1に対応し、次の学習をする。 (1) 文字（基本的な漢字）を書くことができ、日常的に目にする短い文章、ごく簡単な読み物の読み取りができるようになる。 (2) 基本的な日本語文法の規則、語彙を用いて、文書の読み取りができ、身近な話題に関して複数の文から成る作文をすることができる。	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
課題 解決 演習 科目	課題 解決 演習	<p>In this course, students clarify their awareness on social issues through group dialogue. Students will also present solutions in public based on this awareness of the issues. Through this process, students develop a sense of ownership and examine the direction of themes that should be tackled in the future of campus life.</p> <p>This course consists of lectures, exercises such as individual and group work, and finally group presentations and personal reports. Students are encouraged to actively participate in this course.</p> <p>本科目では、学生がグループでの対話を通じて、自らの社会課題意識を明確にする。また、この課題意識に基づき、解決策をまとめて人前でプレゼンテーションを行う。こうしたプロセスを通じて、学生は当事者意識を醸成するとともに、これからの大学生活で取り組むべきテーマの方向性について検討する。</p> <p>本科目は、レクチャー、それに基づく個人ワークやグループワーク等の演習、そしてグループでのプレゼンテーションおよび個人レポートで構成される。受講者は、積極的にこのコースに参加することが望まれる。</p>	
	課題 解決 演習	<p>In this course, students will prepare project plan, conduct researches and analysis, and identify a core issue out of particular social issues raised by partner organizations (business entities, local governments, NPOs, international organizations, etc.). Students will intensively learn research methods through this course.</p> <p>This course consists of lectures and feedback from faculty members and partner organization, group work exercises, group presentations and personal reports.</p> <p>本科目では、学生は、連携機関（企業、自治体、NPO、国際機関等）から提示された課題をもとに、プロジェクト計画書を作成し、調査、課題分析を行い本質的な課題を明確にする。本科目では、特に調査の仕方に力点を置いた学びを提供する。</p> <p>本科目は、教員および連携機関によるレクチャーやフィードバック、グループワーク演習、グループでのプレゼンテーションおよび個人レポートで構成される。</p>	
	課題 解決 演習	<p>In this course, students will prepare project plan, conduct researches and analysis, and identify a core issue out of particular social issues raised by partner organizations (business entities, local governments, NPOs, international organizations, etc.). Students will intensively learn analysis methods through this course.</p> <p>This course consists of lectures and feedback from faculty members and partner organization, group work exercises, group presentations and personal reports.</p> <p>本科目では、学生は、連携機関（企業、自治体、NPO、国際機関等）から提示された課題をもとに、プロジェクト計画書を作成し、調査、課題分析を行い本質的な課題を明確にする。本科目では、特に分析の仕方に力点を置いた学びを提供する。</p> <p>本科目は、教員および連携機関によるレクチャーやフィードバック、グループワーク演習、グループでのプレゼンテーションおよび個人レポートで構成される。</p>	

授 業 科 目 の 概 要

(ソーシャルシステムデザイン学部ソーシャルシステムデザイン学科)

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
課題 解決 演習 科目	課題 解決 演習	<p>In this course, students will prepare project plan, conduct researches and analysis, and identify a core issue out of particular social issues raised by partner organizations (business entities, local governments, NPOs, international organizations, etc.). Next, students formulate a plan (hypothesis) towards a solution and confirm its effectiveness through verification on the original plan. Finally, the solution is presented to the partner organization. This course consists of lectures and feedback from faculty members and partner organization, group work exercises, group presentations and personal reports.</p> <p>本科目では、学生はまず、連携機関（企業、自治体、NPO、国際機関等）から提示された課題をもとに、プロジェクト計画書を作成し、調査、課題分析を行い本質的な課題を明確にする。次に解決策について企画（仮説）をたてるとともに、検証を通じてその有効性を確認する。最後に連携機関に解決策のプレゼンテーションを行う。</p> <p>本科目は、教員および連携機関によるレクチャーやフィードバック、グループワーク演習、グループでのプレゼンテーション及び個人レポートで構成される。</p>	
	卒業 プロ ジェ クト	Degree Project/卒業プロ ジェクト	<p>This course is positioned as a comprehensive summary of learning at the university. Students set their own research themes based on their learning results, and conduct research by clarifying issues and planning solutions. Project research will be conducted with the support of the faculty in charge. And feedback from external stakeholders is important in project research. Students will present the final results and compile as a report.</p> <p>本科目は、大学での学修の総まとめとして位置づけられるものである。学生は、これまでの学修成果を踏まえ、自らテーマを設定し、課題の明確化と解決策の立案をプロジェクトとして研究を行う。プロジェクト研究は、担当教員のサポートを受けながら実施する。また、外部ステークホルダーからのフィードバックが重視される。学生は最終成果をプレゼンテーションするとともに、報告書としてとりまとめる。</p>

公立大学法人県立広島大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和2年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	
県立広島大学					
地域創生学部					
地域創生学科					
	地域文化コース	75	—	300	
	地域産業コース	90	—	360	
	健康科学コース	35	—	140	
生物資源科学部					
	地域資源開発学科	40	—	160	
	生命環境学科	100	—	400	
保健福祉学部					
	看護学科	60	—	240	
	理学療法学科	30	—	120	
	作業療法学科	30	—	120	
	コミュニケーション障害学科	30	—	120	
	人間福祉学科	40	—	160	
計		530	—	2,120	
県立広島大学大学院					
総合学術研究科					
	人間文化学専攻	修士課程	10	—	20
	情報マネジメント専攻	修士課程	10	—	20
	生命システム科学専攻	博士課程前期	30	—	60
	生命システム科学専攻	博士課程後期	5	—	15
	保健福祉学専攻	修士課程	20	—	40
経営管理研究科					
	ビジネス・リーダーシップ専攻	専門職学位課程	25	—	50
計		100	—	205	

令和3年度		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
観啓大学					大学新設
ソーシャルシステムデザイン学部					
ソーシャルシステムデザイン学科					
		100	—	400	
計		100	—	400	
県立広島大学					
地域創生学部					
地域創生学科					
	地域文化コース	75	—	300	
	地域産業コース	90	—	360	
	健康科学コース	35	—	140	
生物資源科学部					
	地域資源開発学科	40	—	160	
	生命環境学科	100	—	400	
保健福祉学部					
	看護学科	60	—	240	
	理学療法学科	30	—	120	
	作業療法学科	30	—	120	
	コミュニケーション障害学科	30	—	120	
	人間福祉学科	40	—	160	
計		530	—	2,120	
県立広島大学大学院					
総合学術研究科					
	人間文化学専攻	修士課程	10	—	20
	情報マネジメント専攻	修士課程	10	—	20
	生命システム科学専攻	博士課程前期	30	—	60
	生命システム科学専攻	博士課程後期	5	—	15
	保健福祉学専攻	修士課程	20	—	40
経営管理研究科					
	ビジネス・リーダーシップ専攻	専門職学位課程	25	—	50
計		100	—	205	